第三千八百三十四號（一） （明治三十九年九月八日第三種郵便物認可） THE KEIJO NIPPO 大正七年五月二十六日 （年中無休刊）

京城日報

二十五日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 [illegible]

◎協約報告と國務省
石井駐米大使の沈默

米國々務省は駐支公使ラインシユ氏よりの報告を接手せるが之れに據れば同氏は日支防禦協約の正文を得る能はざりしと尚氏は其の報告に於て述べて曰く『同協約は調印せられ萬一の場合に對する準備は着々進行中なり』と石井大使は同協約に關しては沈默を守りつゝあり（華盛頓電報）

◎ペ市麵麭分配中止
人民暴動憂慮—停車場大火災

ペトログラードに於ける麵麭の分配は中止せられたり麥粉は之れを得るの途無く僅かに馬鈴薯あるのみにて人民は暴動を起す可き虞れあり又ケルハングルスのネムク停車場にて大火災ありたりとの報あり（莫斯科電報）

◎伊國講和提議拒絶

墺太利は伊國に對し伊國が若し單獨講和をなす上に努力せば重要なる讓與を爲す可しとの提議を爲したるに直に拒絶せられたりと報ぜらる（紐育電報）

◎諸償却一百萬圓
東拓當期の成績非常に好況

東拓第十回の決算に際し諸償却及び雜損の整理に九十餘萬圓の巨額を支出したる事は石塚東拓總裁の演說に見ゆ居れるが會社重役が一擧百萬圓弱の巨資を諸償却に充當せし事は非常の英斷と稱すべく內部の刷新整理は以上を以て一新生面を開きたる觀あるべし同社の當期の決算を見るに各種積立金を相當に振當て配當は一分增の七分五厘とし而して繰越金をも巨額し然も百萬圓弱の諸償却をなし得たるは大正六年度の會社事業がいかに良好の成果を收めしかを知に十分と云ふべく殊に昨年は本社の移轉滿洲兩支店の新設等にて巨額の出費ありしに拘はらず右の如き決算を公表した事は重ね〲會社收益のいかに多大なるかを見得べきが右は旱魃等のため收納に於て反つて前年より減せしも米穀の價格が二倍弱の暴騰をなせしため社の收入を激增したる事を主とし次に金融部の活動乃ち貸出高の增大これ亦前年の二倍弱に達したる事更に沖年移民の收入良好ならざるため停滯勝ちとなりゐたる移民數千戶に對する貸附金回收及び土地代割當分の收納を昨年來穀價騰貴の際勵行せしためその方の收入增のみにて三十餘萬圓を計上する有樣となりしためにて會社は純益の增大著しきより配當金の約二倍に該當する百萬圓弱を思ひ切り償却に充てしもの、如きが要するに東拓當期の成績は各方面共意外に良好なりしもの、如し

◎總督午餐會

長谷川總督は二十五日午後十二時半より藤山東京商業會議所會頭美濃部鮮銀總裁賀田皮革會社々長、岡村製糖會社重役松崎朝鮮郵船專務、趙鎭泰氏、三浦計氏、宋子卿、川上東拓理事、高野三井物産支店長、韓漢城銀行專務、白漢湖農工銀行長等を朝鮮ホテルに招待午餐會を催したり總督府よりは山縣政務總監、鈴木度支部長官、荻田總務局長、青木農務課長、及び武官副官秘書官等出席したり

◎改正官制公布

朝鮮總督府及び所屬官署官制中改正の件二十三日官報を以て左の通り公布されたり
▲總督府官制中改正の件（一）視學官一人增員其他職員の增員（二）農商工部に地質調査所を設き地質の調査に關する事務を掌らしむること（三）地質調査所には朝鮮總督府技師を以て之に充つること
▲遞信局官制中改正の件 專任技師一人增員其他職員の增員
▲鑛床、林野及び國有未墾地調査の事務に從事せしむる爲朝鮮總督府に臨時職員を置くの件中改正の件 職員の減員

◎醫院事務官特別任用令

朝鮮總督府醫院事務官は（一）三年以上官立醫院の事務に從事し奏任官の職に在りたる者（二）五年以上官立醫院又は衞生の事務に從事し其職に在り判任官四級俸以上の俸給を受くる者の中より高等試驗委員の銓衡を經て特に之を任用することを得る旨二十三日官報を以て公布されたり

◎團隊長會議日程

既報の如く六月八日より四日間第十九師團司令部に於て團隊長會議を開會さるべく其の日程左の如し
▲一日午前軍司令部に於て開會▲二日午前各團隊長の狀況報告午後師團長訓示▲三日午前本參謀長講演午後山田法官早川經理兩部長講演▲四日午前岩田軍醫、中河原獸醫兩部長講演午後質疑回答、福島少佐講演

◎軍經理會議日程

廿七日より三日間駐劄軍司令部會議室に於て軍經理會議を開會すべき事は既報の如くなるが其の日程左の如し
▲一日午前軍司令官及軍經理部長訓示▲經理部長會議事項に關する指示午後軍經理部長指示事項▲二日午前各部隊特種事項席上報告各部隊意見事項に對する回答▲三日午前事務打合午後一時より工業專門學校見學三時より昌德宮拜觀
出席者は廣瀨主計監以下軍より十五名倉庫より四名各部隊首座十名步兵隊より六名憲兵隊より十五名其他病院要塞部等より七名合計五十七名なり

◎水產製品檢查規則發布に就て
（四）谷水產課長談

▼罐詰の標紙 本規則第九條に依れば罐又は罐の標紙に內容物の品名及び正味量を記載すべしとあり所謂『レッテル』を貼付するを要する旨を規定せり是れ朝鮮產罐詰は多く無『レッテル』の儘移出せられ內地に於て內地製造家の『レッテル』を貼付するを常とせる通以て當業者に於ても自然自己の商品に付責任を感ずること薄く從つて製品改良上遺憾の點ありしのみならず斯の如き狀態に在りては外國に直輸出をなさしむるが如きは到底之を望む能はざるを以て之が改善を圖らむとするの趣旨に出でたるものなり然るに從來內地稅關に於ては『レッテル』を貼付せざるものに限り移入稅を免除し『レッテル』を貼付せるものは

▼總て課稅し 來りたり而して罐詰の移入稅は從價四割にして若し之か課稅を見るが如きことあらば當業者の苦痛大なるべきを認め本規則發布前大藏省と打合はせの結果今後『レッテル』を貼付せるものも無稅移入せしめ得る見込なるを以て當業者は此點に關し何等憂慮するの要なきものと認む檢查合格品の等級を海藻のみに限り其の以外のものに在りては單に合格不合格の二階級に止めたるは朝鮮に於ける水產製品の現狀に徵し且內地に於ては從來各種檢查場に於て合格品に等級を設けたるに拘らず大正五年農商務省主催の水產製品檢查關係の官民協議會に於て罐詰を除く外等級廢止の決議を爲し同省に於て

▼亦之を認め たるに鑑みたるものにして從來海藻檢查規則に於て等級を認めたるものに限り依然之を存續することゝせり檢查所の位置は稅關所在地を主とし其の外水產製品の主要なる集散地たる釜山外十五箇所に之を設け苟も當業者の不便なきを期したり內四箇所は周年檢查所開設の必要なきを認め稅關長に於て必要と認めたる期間のみに限ることとせり本規則の施行期日は七月一日にして其間に於て當業者は既製の製品と雖も充分本規則に適合する製品たらしめ得るの猶豫を與ふることゝせり（完）

◎中央市場條規案（一）
京城商業會議所研究案

京城公設市場建設の議は漸く世人の認識する所となり而かも周圍の事情は之を實行するの必ずしも不可能に非ざるを思はしむるあり此の上は只之を經營すべき當局の努力如何に在るのみ此際當局は市場の實情を研究し餘裕ある設計を立て悔を他日に遺さゞらん事を念とせざるべからず市場の條規は朝鮮市場規則に基き市場を直接經營するの準則にして其の宜きを得ると否とは市場將來の成否を卜すべく會議所は從來論じ來れる所に據り一の案文を作り之に理由を附し以つて大方の參考に供し共同研究に資すべく其の條規案左の如し

公設市場條規案

市場の經營に關する法規は大綱を握んで繁煩ならず公益に反せざる以上は成るべく商習慣を重んじ商人の自由を尊び壓制束縛のことあるべからず之を立案の要領とす

第一章 總則

第一條 本市場は京城公設中央市場と稱す

將來京城に幾何の公設市場を設けざるべからざるやは今日之を豫測し難く或は一個の大市場を以つて足るべく或は二個の市場を必要とするやも測り難し而も存續期間尚ほ未だ到來せず公設市場開市後に於ても之と對抗競爭する私設の市場あるべし茲に公設中央市場と命名せる所以は京城に於ける最大にして且つ模範たるべきを期すると共に他に公設又は私設の市場の存在を前提とせるものなり

第二條 本市場は京城府之を經營す但し京城府は其の經營を公共團體に準ずべきものに委任することを得

市場規則第二條には市場は公共團體又は之に準ずべきものに非ざれば之を經營することを得ずと規定し先づ市場經營の主體を制限しつゝ制限內のものは其の何れたるを問はず經營し得ることゝせり本條は本市場の經營者は必ず京城府たるべきを原則とし只委任に依り其の實行を他人に託し得ることに定めたり其の理由は前段に於て經營を希望するもの、競爭を防ぎ世人の疑惑を去り次ぎに京城府が直接當局に當るを不利とする場合を慮り後段の規定を設けたるなり

第三條 本市場に於ては生魚、乾魚、鹽魚、鳥獸肉、蔬菜、果實其他事務所が選擇したるものに限り販賣す

◎東拓株主總會
傍聽席より
二十二日東京支局 一記者

▼七分五厘の配當案と一千萬圓の增資案とを附議したる東拓總會は、豫期の如く滿場一致の贊成以つて原案を可決致し候、而して又豫期の如く多少の質問と多少の希望とを株主側より提唱致し候

▼總裁の營業報告演說終りて第一に放たれたる質問は、幸に時局に對する總裁以下の施設努力により會社の收益は好調を呈しつゝあるも、前期の總支出は總收入の約七割に當りたりと記憶する本期に於ては支出は收入に對し夫以上の比率を示しつゝあるに非ずや、則ち收入も增加したると同時にまた支出も格段に增加したるに非ずやとの旨趣に於て爲され候に對する答辯は時局の關係上物資勞力の騰貴に因る已むを得ざる支出增加の他に會社が多額の償却を爲したるを指摘いたし候、則ち債券建物等の償却は前期度に於て廿三萬圓なりしを本年度は一躍五十九萬圓を計上したるを擧げて諒認を求め申候而して是れ社礎の堅固にする所以の途なるに於て株主の首肯を得たるやに存せられ候

▼第二の質問は損益計算に於ける總損金三百七十九萬圓の內譯の中雜費の名の下に百十一萬餘圓を一括せるに對し更に細別して說明あり可きを求め候、松平理事の陳述によれば此の中には前重役退職慰勞金九萬五千圓、債券發行費十三萬九千餘圓、其募集費三萬圓、定款の改正による本支店移轉新設費三萬餘圓、其他諸損卽ち從來の貸付金額の中回收の見込無きもの、切捨て十一萬四千餘圓、土地の處分十六萬餘圓、移民收容家屋處分萬餘圓等を含み居るものに候、株主側の是に對する希望は理事者が不動產の減耗による損失の計上に留意せらるゝと共に、その價格の騰貴による利益の計上にも亦一層の注意あらんことに歸し申候

▼第三の質問は會社の農產物の大宗たる籾の販賣價格に就いて發せられ候、是に對する說明は前期繰越値段四圓五十錢なりしもの、本期決算締切當時に於ては五圓六十錢、最近の取引に於ては十圓四十九錢を記錄したるを示し候

▼一株主は增資に就て質問を提起いたし候、曰く、會社は一千百萬圓の預金を抱いて更に取急ぎ增資の必要ありや、資金の潤澤なるは動もすれば投資の放縱を誘致し十萬餘圓の貸付金切捨てをなさざる可からざるが如きことあるに至ると訴調し、而して最後に至り反復して新株の第一回拂込の時期を成る可く晚からしめんことを希望せしは、個々の該株主の發言が立脚せしものなるを諒解せしめ候、複雜なる株主心理に對する理事者も相當御苦勞の存候

▼若し夫れ、會社の資本金と債券發行能力の關係を質問し、海外事業の株式引受理由を問ふが如きに至りては、聊か呆然たらざるを得ず、株主たるもの今少しく會社の定款位は研究し、資本家として發言權を行使するに於て用意周匝ならんことを希望致し候

◎滯貨漸減
內地行

五月二十日午後六時現在滿鐵朝鮮線に於ける內地行き滯貨は二萬一千六百餘噸にして前一旬に比し約三千餘噸の減少を示し居れり滯貨內容左の如し

	本州行	九州行
一月中申込のもの	八六一噸	○噸
二月中同	五、六一四	○
三月中同	二、六三四	○
四月中同	一、八九三	六五
五月中同	四、九三三	一○三
計	一六、三三四	一六八
釜山棧橋滯貨	二、七五七	五六七
局線內輸送中のもの	九○六	九九二
合計	一九、八九七	一、七二七

尙ほ客月二十六日以來本州行き百五十噸減じ九州線及び下の關行きを同額丈け增送しゐたるが十六日より右の制限を解除し從前通り本州行きを二百噸となしたる結果本州行き六百噸九州線及び下の關行き百二十噸本州行きは鮮滿發四百八十噸釜山自發百二十噸九州行き鮮滿發百六十噸釜山自發四十噸となれり

◎組合汽船 橫斷航繼續

朝鮮郵船會社の橫斷航路に對抗し敦賀浦潮津元山間に航路を經營しつゝある神戶組合汽船會社專務吉胤氏は過般入京二十三日當局を訪問し二十四日元山方面に向ひたるが同氏の談によれば組合汽船の橫斷航路は現在に於て高價の傭船大保丸を充當しつゝあるに付損耗を續けつゝあるも尚ほ繼續の意嚮にて六月よりは大保丸を船主に返付し同社にて新造せし第二組合丸を就航せしむる方針なりと

◎鮮銀國庫檢査

日本銀行檢査役大塚小一郎氏は同行檢査局員三名を隨へ二十四日夜入京、十五日より向ふ約一週間日銀代理店たる鮮銀國庫事務の定例檢査を行ふ事となりたり

◎府稅家屋稅納期 京城府

京城府に納入すべき家屋稅は本月二十五日を以て其の指定納期とし府稅は來る三十一日を以て其の法定納期と定められたり又大正七年度第一期學校組合戶別割は納入告知が未納者に對する督促狀の發付方遲延せる等の結果に依り未だ之を見ざるも近日中には當然此の運びとなるべく市街地稅に在りては既に內鮮人の未納者合計一千七百數十名に對して督促狀の配付を了し滯納者に向つては財產物件の差押に着手せりと

◎大正水利竣工式

百數十萬圓の巨資を投じ八千町步の土地に灌漑を行はんとする大正水利組合並に不二農場の竣工式は既報の如く二十七日擧行の事となり京城方面よりの列席者は廿五日夜より廿六日夜に亘り出發する由

◎普植園臨時總會

朝鮮貴族より成る林業組合普植園にては二十四日午後四時より黃金町同事務所に於て臨時總會を開き役員の補缺選擧を行ひ園長には伯爵李完用氏幹事に閔泳瓚氏當選せり

◎總督府雇員募集

朝鮮總督府にては近日中內地人雇員採用試驗施行すべく受驗希望者は總督府各部局課判任官以上の推薦を以て來る二十七日迄に履歷書を人事課に差出す可しと

◎兩博士來鮮

六月一日二日京城に開會の朝鮮醫學大會列席のため東京より耳鼻咽喉の大家醫博岡田和一郎氏九州帝大より外科の大家醫博三宅速氏來鮮する事となりしが岡田氏は夫人同伴二十七日頃東京發途中宮島若くば下の關一泊三十日頃入京すと

◎平井博士入京期

支那交通部顧問工學博士平井晴二郎氏は夫人同伴歸任の途に就けるが二十六日朝釜山著の旨通報ありたるを以て同夜入京すべし

井上博士講演會

文學博士井上圓了氏今回十三道巡回講演の爲め總督府囑託として來京せらるゝを機とし左記の通り講演會開催博士の講演を請ふ事と相成候間一般の來聽を希望致し候

一、日時 五月廿六日午後三時
一、場所 南山町高等女學校講堂
一、演題 『國民道德の大綱』及び『心理的妖怪』

主催 朝鮮教育研究會 朝鮮及滿洲社 京城日報社

◎淺川長官日程

馬政局長官陸軍中將淺川敏靖氏は朝鮮並に支那馬匹視察の爲め馬政官騎兵少佐佐原敬二氏帶同來る三十日午前八時釜山著來鮮の豫定なるが著釜後直ちに成歡赤星牧場水原李王家牧場視察三十一日夜南大門驛著入京 兩三日滯在龍山の乘馬隊の軍馬視察の上洗浦、漣川、會寧及び羅南等巡視後京城に引還へし六月二十日頃支那に向ふ可し

◎立花師團長歸任

新安州に於ける步兵第三十九旅團將校幹部演習視察の爲出張中の立花第十九師團長は二十四日歸任せり

◎市川參謀長歸任

駐劄軍參謀長市川少將は二十五日[illegible]著列車にて步三九旅團幹部演習視察を終へ歸任せり

◎鹽澤大佐歸任期

鹽澤京畿道警務部長は京城分隊及び驪州分隊管內檢閱中なるが二十六日午後歸任す可し

北邊俳信
烏兎

間島より
馬上過ぐる木の無き街や春霞
打ち〱て山裸なる畑遠し
旅來て馬腹に春の水高し

雄基より
水碓聲を閑かに人遠し
殘雪を欺ひ過ぐや山つゝじ
狼の嘷聞き過ぐ若葉哉
草萌や鷗吹かるゝ輕き風
行春の馬に別るゝ雨暗し

琿春より
隣り打つ二國の民の畑哉
論ふ渡錢や岸の草青む

◎持地長官歸任

北鮮出張中の持地遞信局長官は二十五日午後五時十分南大門驛著列車にて橋本副事務官帶同歸京す

◎東拓藤山氏招待

東洋拓殖會社にては二十四日午後七時より入京中の藤山東京商業會議所會頭を招待千代本に張宴せり

◎中村鮮銀局長

久しく北京天津方面に出張中の鮮銀熊務局長中村光吉氏は數日前天津より上海に向ひたる旨銀行に消息ありたるが歸期は六月上旬に入らん

◎牧山代議士歸期

久しく東上中なりし朝鮮公論社長代議士牧山耕藏氏は夫人家族同伴歸鮮の途次二十四日午前神戶を二泊の上二十七日夜南大門著歸京の筈

◎主任書記會同終了

京畿道會議室に於て去る二十日より開會中なりし管內府郡主任書記會同は二十四日午前十一時終了直ち[illegible]

に一同は京城製絲場、[illegible]、原蠶種製造所等の視察を爲し散會せり

▲關屋氏東拓代表出張 東洋拓殖會社より大正水利竣工式に參列の爲め川上理事出張の筈なりしも事務の都合上中止し關屋土木課長代理として出張する由

人事消息

▲西田正俊氏（大阪旭興織所重役） 二十四日午後大阪へ
▲吉野齡玉氏（江陵慈惠醫院長） 二十五日[illegible]京原金へ
▲愛媛縣教育視察團十四名 二十四日夜入[illegible]清光館へ
▲今井仲次氏（日本製糖技師） 二十四日夜入京巴城館へ
▲藤田常太氏（東京商業會議所會頭） 二[illegible]日夜歸京
▲矢野遞信局經理課長 元山に出張中[illegible]ところ二十四日歸任
▲高洲規氏（釜山日報社長） 二十五[illegible]不知火へ
▲時永浦三氏（總督府第三[illegible]） [illegible]務視察の爲め[illegible]
▲青木戒三氏（同農務課長）[illegible] 鳴海氏（同技師）[illegible]
▲添田太郎氏（同鐵務課[illegible]） [illegible]打合せの爲め出府を命ぜら[illegible]
▲平井三男氏（同學務課長） [illegible]爲め開城へ出張の處二十三日歸任

◎群山

▲鮮南勸業總會 群山鮮南勸業株式會社定期總會は二十、二十一の兩日開催當期決算報告其他重要案件を附議し重役の改選を行ひ[illegible]果取締役に楠田義達、德永[illegible]、神林松吉、阪上富藏、作間政[illegible]、貞弘正興氏の六名を擧げ監査役に井上清治、矢野三郎氏の二名を[illegible]役として阪上貞信、佐藤政次郎、芥川元一郎、古屋新吉、岡田金太郎、宗秉直氏六名を選擧したるが二十二日は役員會を開き社長に楠田義達氏常務取締役に阪上富藏、德井音助兩氏決定したり因に重役會に於て前社長阪上貞信氏重任の[illegible]なりしも同氏は近時忠南鐵道其他起業問題の爲め內地方面の要務繁端を極め其任に堪へざるの故を以て辭意固く遂に楠田義達氏を社長に推すに至れりと

▲商議評議員會 群山商業會議所にては二十二日午後七時より臨時評議員會を開き演理築地處理の件、稅關用地一部貸下願の件、商業會議所聯合會に關する件等に關し附議する處あり[illegible]

▲檢米ノ利便 全羅北道穀物檢查施行規程に依り從來檢查施行指定地外地方遠隔地域所在の[illegible]場多數米穀の檢查を受くるに當り運搬上非常の損害と不便を感じつゝありしが昔戶米穀檢查所長は之が改善に付講究中個々各地大農[illegible]筋より同樣要望する處ありたるを以て當局に申請したる結果受檢者に於て相當檢查員出張旅費を負擔するを條件として指定地外出張檢查を行ふ事に決定し二十二日より實施するに至れり

時間表
[illegible]
十一月一日現行

朝鮮の自然

◇伊太利の様だ

空氣は透徹ではあるし 山麓で青や赤の服を著た小供が遊んでゐるのは 暫く京仁の間で製作する

二科會 石井柏亭畫伯談

仁川茂木氏宅に滞在中の石井柏亭畫伯は……りながら記者に語つて曰く

「朝鮮は初めてです未だ何處も見物せぬから大した感想はないが京釜沿線の諸山が山骨を現はして

◎面白い皺を 見せしてゐるのは如何にも朝鮮らしく特に洛東江沿岸に灰色の小さい家が點在して寂寥ではあるが大變懐かしみのある景色は深い印象を得たはからず同車した大隈君も同感の様子だつたそれに

◇空氣は透徹では あるし山麓には青や赤の服を著た小供が遊んでゐるのは伊太利の田舎を旅行して居る氣持ちで非常に愉快に感じた湯淺一郎君も話してゐたが實際伊太利を思出しますそれに

◎女の服裝等 を單なるアウトラインで其感じを現はし得る事など大體共通した點が有る様に思ふ今後の豫定は未だ決しませんが暫く京仁間で製作する考へですが左様妓生の舞なども見たいとは思ふが今の處それを描かうとは思はない反つて

◇ありのまゝの自然 のうちに働いてゐる女や小供を是非取扱つてみたいと思ふ風俗なども過度期の現代其儘でよいと思ふチョッキを著けた學生帽を戴いたり靴を履いたりしてゐる所が實に面白い近日中に少年少女を對幅として描いて見ようと思ふ」……

洋畫、日本畫、裝飾畫、和畫いづれとしても可ならざるはなく正宗得三郎氏の印象的ではなく、小杉未醒氏の如く概念的でもなく、前人未發の境地を開拓して行かうとしてゐる畫伯の事だから畫布の上に半島の自然と生活が如何に取扱はれるかと云ふ事は可なり注目に値する事であらう

◎上納阿部兩師無事

=イルクック監獄 監禁中の

軍事探偵の嫌疑にて目下イルクック露國軍用監獄に監禁中の本派本願寺布教師上納、阿部兩師等は何れも意氣軒昂なるが保釋出獄は許されず最近入獄わりたり（大阪特電）

◎大阪商船ビルマ丸 沈沒は免かれん 積荷は鐵と棉花

既電大阪商船會社所有ビルマ丸火災に就本社員は語る遭難地は晩香坡トウノクック岬を距る九十哩の沖合にて積荷は鐵と棉花を積み居れり多分沈沒は免るべきかと（大阪特電）

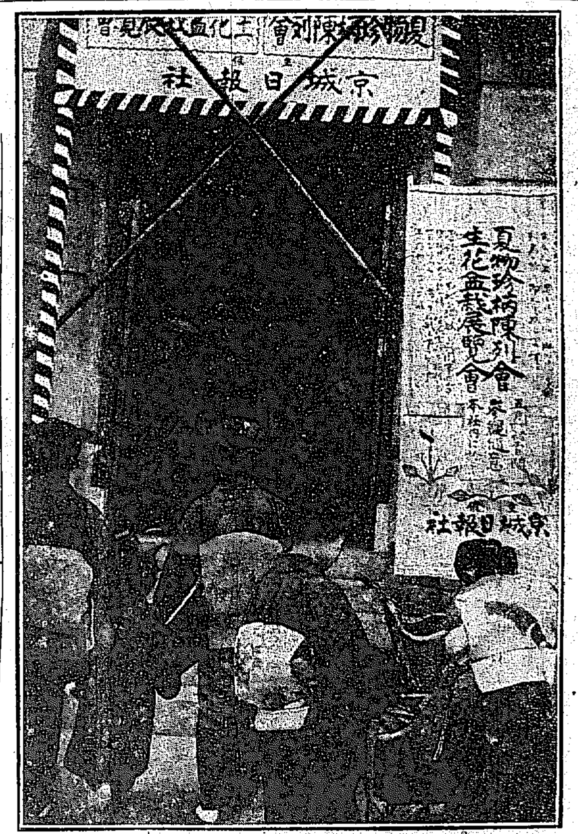
◎重罪囚六名脫獄す 東京小菅監獄

二十三日午後十一時東京府下小菅監獄の重罪囚六名は二丈六尺の煉瓦塀を乗越し外濠に飛込み脫獄したる事發見され看守の非常召集を爲し警戒中なるが中一名は二十四日午前二時獄衣を著せる儘向島新小梅町の某家に忍び入らんとする處を密行巡査の爲取押へられたり（東京特電）

◎巡査の暴行 泥醉して老人を

舞鶴署管内岡田上村駐在巡査荒井朝乃は犯罪嫌疑ある老人を舞鶴へ同行中泥醉して暴行を加へ遂に路傍に倒したり（舞鶴電報）

◎本社陳列會及び展覽會の開催



初夏の新裝清々しき來青閣上 珍柄陳列生花盆栽展覽會

◎盛況 階下には初夏の花階上は美しい五月の人

◇最新の流行の一粒選りの珍柄に ◇柄に思はず財布の紐をとく

本社主催の珍柄陳列會及び生花盆栽展覽會は徹宵準備に努めた甲斐あつて豫定の通り二十五日には遅滯なく開催することが出來た

回珍柄陳列場は階上 來青閣の二百尺地、帶地ゴート地、半襟などの粹を抜き精を鍾めて處狹き迄に陳列した美しさ、會場入口たる特別玄關は紅白段ダラの門を萬國旗で裝飾され此玄關を入ると直ぐ左が營業部で大半が生花陳列場、社の後庭には休憩所を設け此處には

回清々しい盆栽が陳列してある、本社の催しは數日前から素晴しい人氣を喚び寄ると觸ると話しは之で持切つて居た丈に觀客は愈々其第一日たる廿五日になると定刻の九時を待ち兼ねて早くから犇々と詰め懸ける、老幼男女、柳櫻をこき交ぜて會場は人の波人の渦!!

回催しの大部分が 婦人の傾向丈に觀客も自然婦人が多く十中七八迄は丸髷の人束髪の人である、陳列の柄物は産地並に市內有數の呉服店から出品したものである、何れも最新の流行を一粒選りにした本當の珍柄が揃つて居るので婦人客は唯最う大喜び、中には手に取つては見、離れては眺め

回垂涎措く能はずと 云つた風な人も尠なくない、この日は恰度半ドンなので午後からは一層の人出殿方の顔も午前に比べるとメッキリ殖えたが柄物は何しろ産地が販路擴張の意味から原價で販賣して居るので、市內商店も捨てゝは置けず之に負けじと勉强して居るから廉いも廉い

回正札を見た婦人は 餘り廉いので吃驚して了ひ『怎麼廉いものは市中の商店では迚も買へませんね』と盛んに財布の紐を解くので賣れる〱、帶地でもコートでも宛ら羽が生えて飛ぶやうに賣れる、意外の盛況に係員は勿論出品者も顔の相格を崩して大歎びである

回觀客は陳列場を 一巡すると階下の生花に高尚な趣味を滿足させ新聞製作の實況を見て休憩室に入り此處で備付の茶菓を喫しつゝ雅致豊かなる盆栽を鑑賞して大滿足の態で引揚げた

◇天勝一行に贈れる花環と天勝孃（本社、毎日申報社、九州視察團員有志）

◎大相撲懸賞發表 勝負

大相撲勝負豫想懸賞は今年は初日が二日延びたため應募答案非常に多く二萬五十餘通の多きに達したるが、今場所は休場力士續出したる結果取組の出たる者は

清瀬川、大門岩、三杉磯、源氏山、大鳴門、對馬洋

の三組に過ぎざりしより隨て的中者の數自然多數となり三組的中者五百二十三人を數ふるに至りたるがその內より抽籤を以て左記の如く入賞者を出したり賞品は京城市內の入賞者には直接本社より贈呈すべく二十八日より一週間以內に本社に出頭されたし地方の入賞者には追つて發送すべし

△一等 仁川本町二丁目奥田貞次郎方原田三吉

△二等 鎭南浦府旭町石川繁雄△京城度支部理財課李斯龍

△三等 京城南山町常備消防隊內大武納△京城旭町一丁目一三三倉田方鮎澤常義△釜山大池本店西村寅義

△四等（十五名）△京城太和町一の一〇萬年方岩野澄男△京城櫻井町一の一三一の九山本良吉△市內旭町三の一一柳原不滅……

△五等（三十名）……

◎幽靈講で騙取 何から何迄僞造

山口縣厚狹郡厚東村生れ京城笠井町居住重本好雄（三）なるものは米田吉三郎と言ふ者の組織せる賴母子講あり自己は其の講の幹事なりと稱し米田なるものゝ幽靈講を種にして講に對する一切の書類を僞造し更に富永、野村等の印章を僞造し是を事實なき人なる富永文七、野村孝藏等の名義を捏造して連帶借用證等に署名捺印して恰も組織も堅實なる賴母子講なるものゝ如く假裝し僞造したる關係書類を携へて旭町一丁目安武某方に至り實は來月講員八十六圓を落札する筈にて斯の通り關係書類一切を持つて居れるが至急に金策の必要あるにつき落札の金員は抵當として金五十圓貸し呉れと巧みに欺きて五十圓を騙取したるを手初めに數名より同樣手段にて數百圓を騙取したる後證據を湮滅する爲め僞の印章は燒き棄てたること發覺して本町署に逮捕され取調べの上檢事局送りとなる

◎天勝晝夜開演

天勝一行は初日以來毎夜非常の大入なるが中にも天虎の金線上の大曲技は大喝采にて喜歌劇『平和の女神』は今度の世界戰亂を諷しキネオラマ應用にて華麗なる舞臺を現出する尚ほ二十六日の日曜日は晝夜二回開演し晝は正午より夜は午後六時より開場すべし

◎昌慶苑の奏樂

李王職洋樂隊は二十六日午後一時より昌慶苑植物園樓に於て左の曲目を演奏すべし

△行進曲カール王△序曲黑鳥△序曲セミラミッ△歌劇曲カルメン△歌劇曲蝙蝠△マリアツトアート女王の舞曲△ワルテリ曲ヘルメン娘子

◎驛夫重傷

二十四日午前十時草梁驛連絡驛夫盧今守（三五）は構內操車作業に從事中左足關節に重傷を負ひ鐵道病院にて手術の結果左下腿下部を切斷したり（釜山）

婦人と小供

◇夏と寶玉石

夏は翡翠とエメラルド

◇一種云ふべからざる凉味があつて燦爛として輝き四時を通じて愛用されるのはダイヤモンドですがこれからの夏向きのものは何と言つても翡翠とか空にかゞやくやうなそして一種の凉味を以つて居るあのエメラルドであります、寶玉石と言へはすべて天然産の本物の事ですが近頃は化學の進歩に連れて殆んど本物と見分けのつかないほど

◇精巧な人工品が出來るやうになりました、けれ共ダイヤや眞珠は素人でも、一見すれば直ぐ僞か否かが判りますが、エメラルドやルビーになると玄人でも鑑定が難かしいと云つてゐられます、新ダイヤにはガラスの上に水銀を張りつけた六七圓のものさへ、化學で結晶させた十五六圓のものと二種ありますが到底五六百圓もするやうな本物とはその光澤に於て比較になりませんから容易く鑑定が出來る譯です

◇眞珠は五六錢から十錢位で藥品で作つた化學眞珠もありますが十八金の指輪に作つて四五圓から十三四圓位はする養殖眞珠もあり本物の天然眞珠は三四圓から四五百圓して居ります天然眞珠の特質は肌が細かで潤みがあつて其光澤にはいはれぬ優美さがあります

◇養殖眞珠は肌が比較的荒く魚の目玉にガラスでも張りつけた樣な光があつて本物のやうに重々しくありません、鑑定の方法としては齒で輕く噛んで見ると眞物は齒ざはりが柔かですが養殖物はツル〱するさうです エメラルドは三四圓のガラス物もあり本物の切子にならぬものを化學的に結晶させた十圓前後の再製したものもありますが本物になりますと同じ大きさでも二百七十圓もしますが色はすべて草色でもしう御座います、無論硬度は違ひます、翡翠にはガラス物も再製物もありませんが琅玕質と青質との二種があります、これはその人その人の好み

◇で蝋のやうな光澤のある琅玕質を好む人と青質を好む向きとあつて値段も大差はありません、何れも十八金、指輪にして二三十圓から百四五十圓位までであるやうで御座います

商況

東京期米特電　兵庫期米　大阪株式特電　大阪三品特電　大阪期米特電　下關期米特電

雜報

◎綿糸布ニ高一底　◎正米漸く買望む　◎多少買氣を催ふ　◎錫は行悩へ乎　◎麥粉は氣迷ひ　◎香料は高氣配　◎板紙又値上げ　◎牛皮は軟弱也　◎精白米小弛む　◎南大門の廻米

仁川米豆取引所　連絡船上陸客　懸賞課題募集規定

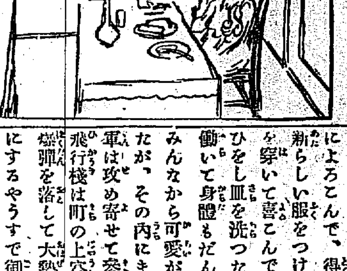
京日紙上お伽講演

軍事お伽 孤兒の少女

龍山 涙光

歐洲の大戰がヅドンと一發破れてから既に六年と云ふ星霜を經て生ける地獄をその儘に此處にも彼處にも屍骸の山が築かれ血の川が流れ實に目もあてられた事ではありません、モンテネグロは横暴なオーストラリヤに攻め立てられて町と云ふ町は打倒され炎と煙に包まれて修羅の巷の有様を出現し、林といふ村の人達は慘しい敵の劔に斃されて仕舞ひました、町を遠に離れた淋しい村に歌子と云ふ可愛い顏をした十二歳になる少女がありました、歌子のお母さんはこの大戰爭が始まつて間もなく果無き後の愛兒を思ひながら重い病に逢に彼の世の人となつて仕舞ひました、お父さんは戰爭に出なければならない軍人です、しかし可愛い歌子を後に唯一人おいて何で戰爭に行かれませう、お父さんは死なば諸共お國のためにとの可愛い兒も連れてとその時七ツの歌子を連れて戰場に出征しました、二年經つても三年は過ぎても何時この戰爭が終るのかわかりません、戰へは敗け戰へば敗けるモンテネグロの戰爭に歌子が天にも地にも只一人杖とも柱とも賴るお父さんは敵のために捕虜となり目もあてられぬ最期をとげました、今は歌子は悲しい孤兒となつて、恐ろしい戰場の野に哀れな凍れたやうに冷たく輝く月を仰ぎながら氷の雫と涙の露に袖も袂も濡らして、木の

下蔭に不安な夢を結ぶのでありました、空を横切る砲銃弾が歌子の小さい胸をふるわせます、夜が明けても食べる物とてパンの片切れもありません、七ツの時に著て出た著物は膝つ坊主の邊までしかなくしかもボロ〳〵に破れて仕舞ひ頭の髮は雀の巢のやうになつて、顏は蒼く瘦せ衰へ、この寒い寒中に靴下を著けず破れた木履を穿いた尻を重たさうに引づりながらやう〳〵次の町まで落のびて參りました、そこには英國の野戰病院が建てられてあつて、ひつきりなしに送られて來る夥澤山な負傷兵のため醫員も看護婦も大多忙でありました、一人の看護婦が飼つて居るジョンがパンを食べのこしてその屑を垣根にほつておいたのを歌子は人目も何も打忘れ走り寄つて『オヽ、パンだ！まあ嬉しい』拾ひ上げてムシヤ〳〵食べて居るのを見付けた廊下の看護婦は『まあ、可哀相に、よほどお腹がすいてるのだらう』と思ひながらお臺所へ連れて來て温かい食物を與へてやつて『あなた何處に住んで居るの？』と親切に問うて見ますと歌子は悲しい顏をして『お家はないの』



と涙をホロリと落しました、看護婦も可哀相になつて來てソツと涙を拭いてやりながら『お父さんやお母さんは？』とき〳〵ますと話し辛さうに『お母さんはずつと前に死んで仕舞つてお父さんはオーストラリヤに捕虜になつて殺されて仕舞つたの……』と今はたまらなくなつたと見ねて看護婦の膝に打伏して聲を立てゝ泣き出しました、看護婦達は少女の哀れな話を聞いて不憫に思ひ病院に留めてやる事にして、みんなでお金を出して先づ著物を一通り買つてやりましたので歌子は非常によろこんで、得意になつてそれ新らしい服をつけ、温い靴下や靴を穿いて喜こんでお臺所のお手傳ひをし皿を洗つたり甲斐々々しく働いて身體もだん〳〵元氣になりみんなから可愛がられて居りましたが、その內にまたこの町へも獨軍は攻め寄せて參りました、敵の飛行機は町の上空を飛んで今にも爆彈を落して大勢の人をみな殺しにするやうすで御座います、一度ならず二度三度こんな慘劇を見た歌子はひどく恐ろしがつてブル〳〵ふるへて縮み上つて居ります醫員や看護婦は病院を引揚て用意の運送船指して海岸へ立退く事となりましたが、この可愛い歌子に再びこの愛目を見せるには忍びないと云つて共に連れて行く事にしました、船の中に暖かい毛布に包まりながら探照燈がサッと閃くと『飛行機、飛行機』と叫んで狂氣の如く立ち上り今にも爆彈が此處に落ちて來たかのやうに泣き叫びます親切な看護婦達は、歌子を抱き上げて布を頭に被せながら『歌ちやん、怖くはないよ、もう大丈夫だよ』と慰めますけれ共暫くは泣きもやみませんでしたがその內色々と慰められて、抱かれたまゝ、眠つたまゝ歌子は英國へ連れていつて皆から親切にされ、快活に愉快には暮して居ますが、親もなく兄弟もなく、自分の國は敵のために踏みにじられて異國に淋しい獨寢の如何なる夢を結ぶ事であらうと思へば……噫敗餘の民、廢墟の跡を思へば……。

◉泗川新寨の古戰蹟（三）

武勳爀々たる修驗者の壯烈なる最期

海軍中將 東郷吉太郎氏談

（前回の要領）慶長の役、島津義弘が僅々三千の手兵を率ゐて慶南泗川新寨に籠城し明軍二十萬に包圍せられたる時城內より赤狐と白狐が現はれて奇蹟を示したる顛末

殉難の赤狐と白狐

神靈に祀せられたる大忠臣二人

戰ひ酣にして城側より赤狐白狐の飛び出したるは疑ひもなき事實であるが、弘公忠恒公之れを御覽じ奇妙の事に思召され合掌天に向ひ拜せられたりと其の時側に附添つて居つた瀬邊元眞の覺書にも見ねて居る之れより士氣大に振ふとあり卽も稻荷大明神は島津家の氏神であり島津家の鼻祖忠久公を丹後の局が住吉にて生みし時稻荷の靈驗があり之に依り江隣氏神として崇祭されて居る島津家には何時も稻荷明神の加護があると云ふのは島津氏は勿論薩藩一般の信仰であつた卽ち赤狐白狐が飛出して直ぐ間もなく敵陣中に爆發が起つたと之れを稻荷明神の加護としたは無理ならぬ事である故に義弘の義久に送りし手紙にも稻荷明神の加護のとがあり重々稻荷大明神に御禮申さでは相濟ぬと書いてあるに依つて

敵の火藥庫を爆發

したるは稻荷明神に祭祀されたのであるが、茲に一の美談がある美談とは何んであるか、卽ち佐竹次郎右衛門が敵兵に紛れ敵の火藥庫に飛び込み爆發して共に戰死した事實である佐竹次郎右衛門は元薩州の人でない秋田の城主佐竹右京太夫の弟にして山伏となり日本巡回修行中薩州に來り時の大守島津義久公の御目にとまり薩州に留りたる人である而して慶長の役に義弘に隨從して出軍したる修驗者であり佐竹光明坊と稱したのである今佐竹氏の系圖の覺書に依ると光明坊は

單身敵中に奔入し

火藥に火を附け屍地に戰死した

としてあり此調査には拙者も餘程苦心したが鹿兒島では唯口碑に傳ふるのみにして昔時の護麑所の稻荷を佐竹稻荷と云ふとは古老の話にも聞き又現在鹿兒島の先輩達は記されてある明治三十五六年の頃予が操江船長（日淸役の鹵獲艦）たりし時沖繩に行つた其時奈良原沖繩縣知事は操江の士官を招待され一場の講演をされた其の一は卽ち予が若かりし時は唯々一途に忠勤を抽すゝるを心掛け村上義光が吉野に於て護良親王の身替りをなしたるが如き佐竹某が朝鮮役に於て敵の火藥庫に飛び込み火を附けるが如き時機に際會せんとを望みたり諸君も亦當さに然る可しと云はれた是れ予が佐竹の事蹟を知りたる初めである種々調査を遂げると『征韓武錄』に此事が委しく載せてある之に依ると十月一日の戰の初まる前夜大山三次、佐竹次郎右衛門、瀬戸口彌七等は豫て準備し居りたる

明兵の服裝をなし

敵の配陣火藥庫の位置等を偵察

に出た而して一通りの偵察も終り大山三次は城中に歸つた大藥庫の位置を樺山大砲奉行に通知し之を砲擊するの目標地を指示する爲め城外に居つて戰の初まるや此壯擧を敢行したのである玉藥奉行帖佐某の手記には單中に赤色の鎧武者一騎白色の鎧武者一騎敵陣に向け突進し敵の火藥庫を爆發せしめた樣な事が書いてある

赤狐と赤の鎧武者

結び著けた白狐と白の鎧の者を

不卽不離な書振りで當時の玉藥奉行丈け火藥の供給元であり爆發材料には緣が近いから其消息を漏したものであらう卽ち當時佐竹等の戰死は秘密にすると云ふことになり稻荷大明神の加護と勇士の壯烈とは義弘義久兩立せぬ事情は公の書狀の遣り取りの模樣にても讀まれるのである故に當時此壯擧を秘すると云つてとが卽ち歷史に佐竹等の事蹟を記ざりしとが分る『征韓武錄』にも事實は事實として明かな事であるから本文之れを錄すと云ふて居る佐竹が點火し樣が砲火に依り爆破しようが信仰上から云へば稻荷大明神の加護は敢て妨けの無いことである（晋州）

◉秩序を保維する根本義としては

中立地帶を作るに在り

北滿と我勢力

◆朝鮮に於ける水電事業◆

政友會代議士植原悅二郎氏の車中談に曰く

◆一時問題に成てゐた出兵問題も最近石井大使と米國々務卿ランシング氏との會見によつて大に理解された樣である、元來自分は平素後貝加爾州以東及び東三省に對して日支露三國が相提携して此に一つの中立地帶を作り而して其の地域內は各領土の保全と機會均等を天下に發明し是れが秩序の保維に關しては我が帝國が其の實に任すべしといふ事を主張してゐたが前述の石井大使とランシング卿との會見に依る理解も顯著する所は同一であらうと思はれる、若し夫れ斯くの如き理想が實現されるとすれば我が國の立脚は極めて公明正大となり些かも領土的野心を抱いてゐない事が證據立てられる故に斯くの如くすれば支那人は支那人で各自其の堵に安んじ露國人も亦た日本の態度を德とし其の懷き諸外國けたれ亦た一切の疑惑を解き日本に對する總ての疑念が一掃されたる事であらう而して此の策が行はるれば寺內首相は之を聲明し同時に臨時議會の召集を見るに至るやも知れず

◆哈爾賓地方を視察したものが日本の勢力の薄弱なるに驚き大に奮慨する向もある樣だが是れは致し方のない事と思ふ何と云ふても日本の勢力圈は長春迄だそして第二松花江附近は先づ中立地帶と見て宜しからう殊に嘗つては日露の三協約があつたとかなかつたとか云ふ當時露國の外相が議會で發明したのによつて見ても日本の勢力が哈爾賓まで及ばないのは判明するではないかその時代と今とは大に時勢にも變化はあるが露國稱すべきにあれ丈け日本人が移住してあれだけの仕事をしてあるのを見ては不平所の沙汰ではない寧ろ其れ等同胞の努力奮勵に對して大に感謝の意を捧げねばならぬ

◆ホルワット長官にも會見したが長官は非常に喜んでゐたよ殊に近來日本が領土的野心がなく眞に東洋平和の爲めに盡しつゝある事及び其の勢力圈內の滿洲蒙古等に對する態度が如何にも公明正大で且つ現今の露國の國情を理解してゐる事等の爲め多大の滿足をして將來は是非共日本と提携してやらねばならぬと聲明してゐた

◆目下朝鮮で水電計畫を進めてゐるが彼の鴨綠江の如き當局の調査以外に自分の調査では大に相違の點がある樣である乃で方面を換ねて漢江の上流、致原附近の調査をやつてゐるが此方面は一寸見た丈けだから判らないが山は高いし案外の成績を見得るかも知れない（安東縣）

◆兎に角に朝鮮の水電事業は今の處一寸物になり相な處は尠い樣であるが彼の白頭山の七星潮なるものが實際にあれ丈けの水量を吐すと云ふならば有望なものだらうが扨て冬期の結氷期間は如何するか只だ此れさへ解決がつけば滿洲朝鮮の兩方へ多大の電力を供給する事が出來るだらうと思ふ（安東縣）

◉愈々實現すべき釜山船渠

◆山本唯三郎氏の出資◆

牧島船渠設置の件は久しく行惱みゐたるが今回若松釜山府尹と山本唯三郎氏と會見したる結果愈々山本氏より出資することゝなり目下設計書作製中にて一方最初の目論見者たる大池忠助、西條利八氏等と交渉中なれば多年の懸案たる船渠も愈々實現すべし（釜山）

◉安全確實の利殖法

◈二百圓で千八百圓の利殖◈

‖此の期間僅か三ケ月間‖事實が之れを證明する‖

▽有價證券利用利殖秘訣公開△

金の出來ない人に質問して見たい、『貴君は金利の計算を御存じですか』と、世間を御覽なさい、金持になる程の人は必ず金利の觀念が强いが、金の出來ない人に限つて、キッと、金利の觀念が乏しい。よく考へて見ると、金利ぐらゐ恐ろしいものは無い、百圓の金を銀行の定期預金（年五分）に預けて置いただけでは、三十年目に四百三十二圓十九錢、五十年据置いて漸く千百四十六圓七十四錢にしか成らないけれど、同じ百圓の資金を、年二割に運用すれば卅年目には二萬三千七百卅六圓九十五錢、五十年目には實に九十一萬〇千七十圓七十八錢になるのである。金利の說明は判つた、成程年二割に廻して行けば、小資本の者でも恐ろしい

◈一廉の 金持に成ることが出來る。併し理屈はさうだが、實際に年二割に金を廻して行くことが出來るだらうか、出來ますとも、併も月給取なら、月給取りながら、職業の何たるを問はず自己の本業を勵みつゝ、その片手間に年二割どころか、三割にも四割にも、時によつては五割六割、十割にも廻すことが出來る方法がある、それは何であるか、有價證券（主として株券）の賣買である。諸君は今日まで、此方法を知らなかつたが故金持に成れなかつたのである。三井、岩崎、大倉、安田などゝ云ふ天下の

◈富豪は 恐く此方法を知つて居たから、あの富を作り得たのである。諸君と三井、岩崎の財產の差額は、此方法を『知つて居る』のと『知らぬ』の差である。そこで同じ有價證券でも公債や社債などでは高々七八分の利子が取れるばかりだが、株券だと配當金が取れた上に、値上りが出來るから、利益が非常に大きくなる、卽ち資本と利子と兩方で殖ねて行くのである。例へば郵船會社の新株を昨年十月二十五日に一株百八十一圓出して買つて置くと、前期の配當金（拂込額に對する年五割）を取つた上に、今年二月二日、三百六十圓九十錢といふ値の出た時に、これを轉賣すれば、僅か三月と二日間に、百八十一圓の資金で百七十九圓九十錢の利益を得られたのである。卽ち元金と利子と兩方で儲けて居るから、非常な增殖ではないか。この割合で同株を十株買つて置けば、一千七百九十九圓の儲けになり、百株買つて置けば、實に一萬七千九百九十圓と云ふ、素敵な利益を得られたのである。殊にこの割合一株百八十一圓出さなくとも

◈三十圓の手附金で買つて置くことが出來る方法があり、十株なら三百圓出せば、現株を買つて置くのと同樣に買占めて置くことが出來るのだから、利益は矢張り一千七百九十九圓である。三百圓の資本で、三月の間に一千七百九十九圓の利益とは何だか夢のやうな話だが、論より證據事實がこれを證明して居るのだから仕方がない。諸君こんな面白い金儲けが株券の賣買以外に有りますか、有つたら教へて戴きたいけれど恐らくあるまい、他にある筈が無いのである。以上はホンの一例に過ぎぬが、此他の會社の株券なら、如何なる株であつても大抵一株四五圓から廿圓內外の手付金で買つて置けるのだから、少し上手に遣りさへすれば、僅の資本で前例よりもつと〳〵利益が得られる。

◈手附金 を打つて買つて置いた株券の値が、思つた通り上れば非常な利益を得られることは分つたが、常も柳の下に鰌が居るとは定つてゐない。若し反對に下落したらドウするかと云ふ疑問が起るだらう。斯かる場合には現株を引取つて置き、銀行の利子よりも遙かに好い利廻りになる配當金を取りつゝ時期の來るのを待つて値の高くなつた時賣れば、亦非常の大利益を得られる。株の値段の上つたり下つたりするのは、恰度濱邊へ打寄する波のやうなもので、一年の間には幾度も幾度も上つたり下つたりするから、その機會はいくらも來る、斯くすれば株券を買つて値段が思ふやうに上らなかつた時でも

◈銀行に 預金した以上の利益がある、論より證據現在一流の株券が何れも平均一割二三分以上の利廻りになつて居る、故に銀行から金を借りて株券を買つても尙且つ六七分の鞘が取れる譯である、此點が株券賣買の非常な強味で他の商品では斯んな譯には行かぬ、例へば石炭だとか、生絲、綿絲、米などでは買つて持つて居ても利息が生じないばかりで無く品物の質は惡くなる、倉敷はかゝるで、持つて居れば居る程、損失が加はるが、株券はそれと正反對である。土地や家屋なら地代だの家賃だのが取れるから、一寸株券と同じやうな利益な點はあるが、金が入用で直ぐ賣り度いと云つても急には賣れず、又賣る場合には安く踏み倒されるものだが

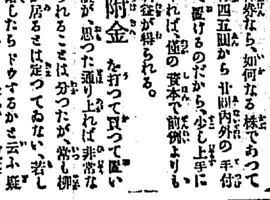
◈株券は 取引所で毎日多數の取引があるから、そんな心配はない、それから手附金で買つた株が反對に下落した場合に現株を引取るには、それ丈けの資本が要るが强て現株を引取らずとも『乘換』『難平』『ドテン』等の方法を利用すれば、如何に下落しようとも少しも損失なきのみか、却つて下落して呉れたお蔭で、大利益を得ることが出來るのである。斯う云つたばかりでは未だ分らないだらうが、この說明は本社有價證券研究會發行の『致富講義錄』に、誰にもよく分るやうに詳しく書いてある。

◈本社を 信じ本社の會員となつて株券を買つた方々の中には儲けた人が澤山あつて、その證狀は積んで山をなす盛況である。若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである、但し株券を買ふにも確實なもの、儲けの多いものを選ばねばならぬ、それにはドンな株を買つたらよいか、又手附金で買ふ方法はドウするものか、夫等の事も親切に說明して誰にも分るやうに詳しく本社發行の講義錄に出てゐる。入會希望の方は先づハガキで東京市神田區一ツ橋通町八株式會社富强世界社（有價證券研究會規則送れ）と申込まれよ。直に內容のよく分る印刷物を無代で送呈する。

耐火煉瓦

▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シヤモット煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種

平壤府橋口町（電話壹貳五番）
合資會社 京谷商店

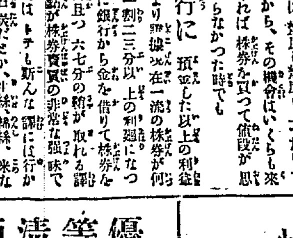


名古屋發明會社一手販賣
蠅取器
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶取替
□其他旅行用具一切
高木旅行用具店

人事百般 周旋業
京城府明治町貳丁目（電話長一八四四番）
萬年社

入院隨意
內科 小兒科
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戸川廣武
永登浦分院長 醫師 久保 次
京城旭町一丁目（電話九六二番）
小林醫院

優等清酒



廣島縣西條町
釀造元 木村靜彥
京城府鍾路（中央）
發賣元 河野酒店 電話二三〇八

產科 婦人科
京城壽町 電話一二〇
醫學士 二宮亮吉
二宮醫院

◉支店長募集
當商會は全國樞要の都市に支店を開設す支店長は相當教育ある有妻者に限る月收百圓以上保證す希望者は直接面談を要す（但保證金を要せず）

りん病 アイラーク 特三円五十錢 並二円五十錢
ばい毒 セーターイ 特二円五十錢 並一円五十錢
責任製劑無効返金

◉責任製劑
あらゆる治療を施すも効なき患者は兎に角一度御試用あれ
左記商會に付他店に販賣を許さず直接御注文あれ

花柳病藥 專門賣 發賣元 大阪市
大阪ドラッグ商會 東區仁右衛門町五一一番地
大阪ドラッグ商會 南區末吉橋西詰
大阪ドラッグ商會 西區新町停留所北
大阪ドラッグ商會 堂島中町停留所前
大阪ドラッグ商會 天滿裏門電車筋

◉にせ物あり前記藥名に注意して御買求めあれ

痔疾專門
入院隨意
京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二〇二番）
京城 久枝肛門病院

塚原卜傳

第八十六席　悟道軒圓玉口演

白妙は娘の素性を聞いて思ひ當ることがあるといふのは自分は宮越源右衛門の實の子でなく藥の上から貰はれて養育された身の上、養父源右衛門が自分が十一になつた年、臍の緒に書いた物を渡して物語つた事がある、臍の緒書には泉州堺にて誕生、玉井掃部長女美津天文十六年三月十二日としてある何でも父は歴々の武士で討死をしたとの事、其れから間もなく養父も人手に懸つて最期を遂げたから悉しくも聞いて置かなかつたが臍の緒書だけは守袋へ入れて肌身離さず所持して居る、此娘の物語りに姉に能く似た女が九條の廓に勤めをして居るとの事、若しや自分の事ではないかと氣が付いたから能く顏を見れば思ふに増して自分の面影と生寫し瓜二ツといつても差支へないほどでありますからさては之れが妹かと　白『それなら妾しにも心當りがある、妾も園九條に居たもの何うやら今の話が我身のやうに思はれるが、そして貴方の父親の名前は何といふ方か聞かして吳れ……』　娘『誠に相濟みませんが父の名を他人樣に告げましては家の恥、どんな事があつても洩すなと母が臨終の際まで堅く申付けましたから……』　白『それも無理はない、そんなら妾の方から聞くが若しや其方の親御の名は玉井掃部とは言ひはしまいか……』と言ふと吃驚した彼の娘が　娘『どうして父の名を御存じでございます、御存じなれば申上げますが實は泉州堺の香西の一族で玉井掃部と申しますのが妾の父、母は同じ一族柳本彈正の娘、姉の名は美津、申し妾は伊登と申しますが、そして貴女は……』と名乘るを聞いて此方も飛立つばかり　白『それでは其方は本當の妹、妾はお前の姉のお美津……』と漸ういつたばかりではまだ分るまい、其證據には臍の緒書に悉しく書いてあるから之れを見れば能く分る……』と言ひさして肌に著けたる守袋を取出だし、紐を解く〳〵取出した臍の緒の包み、此方も夢中に手に取つて見ると『泉州堺玉井掃部娘美津』と明らかに記されてある　伊『さては貴女は尋ねる姉樣……』　白『お前は實の妹か……』　伊『戀しかつた懷かしうございました』と言ふばかり跡は互に取縋つて泪の外に言葉もなし、白妙漸々泪を拂ひ　白『妾とした事が妹に廻り合つて喜ぶこそ當然、泪は不吉止めませう、就いてはお伊登今聞けば父上は討死、母上も世を去られたとか、親のお顏を知らぬばかりか外目にも逢へぬといふは、能々不孝に生れた妾、併し其れは言うて返らぬ事父上の御最期から母樣の御苦勞臨終の際の御遺言までお前はよく聞いても覺えても居やう、一通り聞かして吳れ』と言はれてお伊登泪を拭ひ　伊『お父上は香西の一族で細川高國の子息氏綱殿にお味方して三好宗三と戰ひ、遂に三好長慶のために破られて敢なき討死をなされ、其時姉上は近江の六角家の家來宮越某の手に渡り、母樣は河内の一族の許に忍んで居りました處、長慶の家來松永のために、一族は亡ぼされ、重ね〳〵の苦しみの中に妾を生み、乳呑兒を抱へて諸方を漂泊歩き遂に大和の木辻に知己を頼つて其處で妾も手足を延ばしましたが其十五年間の苦勞は御話し申すも泪の種、漸々之れから安樂をと思ふ間もなく永年の苦勞が許で病ひに罹りまして三月前昨年十二月に世を去りました、臨終の際まで姉樣に逢ひたい〳〵と言續けて……』と跡は堪へずワツと泣く、白妙は初めて聞いた身の生立、偕は三好の一黨に父上ばかりか一族まで無慙な最期を遂げ給ひしかさりとも知らず今が今まで同じ三好の若黨奴に欺れて苟且にも親といふたが口惜しいと之れも淚に正體もなく姉妹手を取合つて其夜は歎き明かしましたが此末は如何次回よりは京極主水の身上に引移ります。

今日のおやつは
モナカときめて
電話かけましよ木村屋へ
(京城明治町 電二八七〇)

五月廿七日九星
舊四月十七日甲戌
本命八白 艮 坂 先負

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三

浪花館　明治町二丁目　電話三六〇番

壽座　黄金町　京城　電話五七八番
▲舊劇『鬼小島彌太郎』
▲連續『ミラの秘密』全三十一巻

有樂館　活動寫眞常設館　電話(局上)五七番(局下)三〇五番
文藝寫眞と怪談、活劇
◎狐兒物語『二滴の水』全五巻
◎大活劇『山賊と貴婦人』全三巻
◎怪奇『本郷小町』全四巻

△聞き落す勿れ
「お待兼の關東關西浪界の花形重鎭
大合同競演會
▲甲齋若虎
▲千歳家九州男
▲吉川家辰右衛門
◎今晩より開演
浪花館

壽館　京城本町　電話一〇五〇

流經新藥レスノリン
月經
閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を容易く遂し得られ他の藥に比し...
發行所　常盤藥院

日一日と色白くなる
日本に初めて出來た
美乳
奥樣の喜び
「實際美乳の不思議の効力には驚きました一日二日、三日、と用ふに伴れて目立つて皮膚の色が白く美しくなつて來るのですもの私は嬉しくて嬉しくて、この味は一生忘られませぬ、これまでいろいろ化粧品を使つて見ましたが美乳ほど効果の著しい確なのは外にありません全く日本に初めてです。」

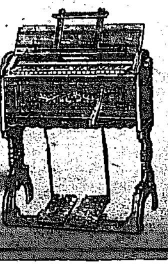
片時も離されぬこの二品！
日本に初めて出來た美乳の評判は大したものです滿天下の喝采を博して居ります平日家庭で美乳を用つた肌へ更に又も日本に初めて出來た純白美乳をお用ひになれば一滴ですぐ美事な化粧、今迄絕對にない白色素で遺憾なく皮膚美を發揮します、故に家庭用には美乳、外出用には純白美乳を切にお勸め致します、此二品は片時も離されぬ姉妹美容料！！
●美乳一瓶貳拾五錢　純白美乳一瓶參拾錢
僅か一瓶で美人となる
試驗はタツタ一週間！

當院長日本齒科醫學士
杉本蔚儀病氣之處養生不相叶昨二十四日總府醫院に於て永眠致候に付御禮旁々生前辱知諸彥に謹告仕候
追而葬送の儀は本日龍山瑞龍寺に於て佛式にて相營み申候間此段申添候
大正七年五月二十五日
龍山漢江通　杉本齒科醫院

奥田直毅儀病氣の處五月廿二日高知市新町田淵自宅に於て死去仕候に付此段謹告仕候也
親戚　松村孫平
　　　田岡壽
友人總代　松尾茂吉
　　　　　藤村忠助

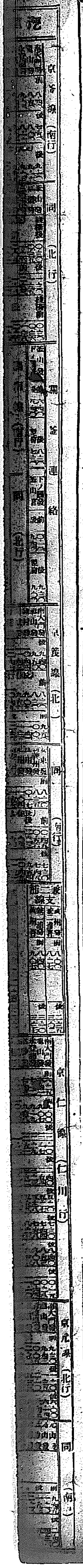
鰹節　銘茶　青
淺草海苔　仁鳩
東京澤庵　㊣商
㊣印麻裏　川店
電話七〇九番・振替京城二〇番

(呈進錄目)
山葉、鈴木製樂器代理店
各樂器　御小賣
京城本町二　山口樂器店
振替京城五二二番　セヤマ樂器店



公債株式現物問屋
株式現物賣買の御用命は是非弊店へ御下命を賜りたし顧客本位を迅速に御取扱可申候
弊店
各商店發行商品切手賣買仕候
京城本町二丁目　丸五商會(有田)

川魚一式
本日より仕出仕候
京城旭町一丁目電話二〇一番
會席御料理　權平庵
中井ゆく



京城日報　第五版
二十六日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

獨逸の産業並に商權擴張策（六）

賀田直治

獨逸勃興の動機及び歴史（六）

獨逸帝國は獨り統治者、政治家若くは軍人の偉大なる人物を有したるのみならず、國民の思想を確立せしむる哲學者並に殖産興業若くは國民保健上の科學者輩出して、各々其の領分の仕事に向つて根據的研究と活動とを實現せり。獨逸の文化は既に中世紀時代に於て發達しつゝあり、即ち封建制度と騎士道の精神、ローマンチックの偉績は幾多の詩歌的思想と哲學思想とを生ぜり、近世に入りてはルーテルの宗教的改革あり、是れ獨逸國民の間に起りし一大事業にして聖書の飜譯は獨逸文學の最初の顯著なる作物なるべし。然るに其後三十年戰爭の爲め、國を擧げて荒廢に歸し文學、哲學も一旦蕩然として地を拂へり。卅年戰爭後の所謂新時代に入りては羅甸又は佛國文學の支配を受けしが、レッシングに至り始めて獨逸文學の獨立を見るに至れり。之より以降文學隆興時代となり[illegible]者、統一者[illegible]なるヘルデル、ゲーテ、シルレル等を輩出せり。哲學思想に於ては先づカントを出し、カントは從來の純粹理性の外實踐理性を統一能力たる感情を擧げ義務心の絶對善たることを說き、爲に普國の義務兵、義務教育等に徹底的基本觀念を與へたり。彼の門下には熱烈なる愛國者フイヒテを出し更にシエリシング、ヘーゲル、ショペンハウエル、ニイチエ、オイケン等を輩出し、孰れもカント系統に依りて獨特の思想を發表し、哲理を常識的信條に化し、國家的並に擧國一致的なる思想の根底を造り、國民に多大の感化を與へたり。最近に至りトライチユケの國家主義となり、ベルンハルデーの露骨なる軍國主義即ち戰爭主義となり、國民を鼓舞刺戟したること尠少ならず、實に獨逸の義務的觀念と國家主義とは偉大にして且つ國民化せられたる哲人に依り傳播せられしものと謂ふべし。殖産興業は實にフリードリツヒ大王以來の重要方針にして該博なる學者と偉大なる政治家を輩出しスタイン、ハルデンベルヒのフムボルト、フイヒテの教育に時勢の刺戟に依りて自主的活動の基を開き、幾多科學者の力に依りて進歩發達の緒を開けり。即ち獨逸工業の盛大は工業學校の實驗室より發したりと謂ふを得べく、特に冶金化學、及び電氣工業の如きは他に企及し得べからざる進歩を遂げたり。其の低廉にして優良なる製造品を生産し得るもの常に獨逸工業の特色にして、一方農業を改良し森林を經營したる學者の努力多大なること、實に枚擧に遑あらざるが如し。法律、兵學、醫學、理學、農學、天文其他各種の科學が何れも最も組織的研究的にして嶄新なる新學說及び實驗を了したるもの幾何なるを知らず、然れども煩累を避けて茲には之を詳述せず。獨逸發展の主要素は人物の輩出、活動並に時勢を活用したるの結果に依ること毫も疑を容れざる所なりと信ず。

兒童教養と母の修養

法學士　李範昇

◎兒童教養所は圖書館の附屬事業として設くるも必要だが理想的のものでなく全く獨立のものを立てゝ專ら兒童を教養研究するを最も好い方法と思ふ。目下朝鮮に於ては兒童を理解し教養する母少き爲め又は舊慣の圈圍より逃れ得ない親達が比較的新空氣に觸れる兒童の情緒は單純感情より不知不識中暗きに導かんとする爲め兒童の方面に進み自發的活動性は萎縮せらるゝのみならず兒童の精神の糧とも云ふべきお伽噺一つ聞かさるゝでなく玩具一つ持たさるゝでなく嚴格に失するもの有るかと思ふとあまり放任し過ぎるのも有り惡く云へば兒童の地獄とも云ひ得るほどの家庭が多い、勿論親達は吾が子の可愛さあまり、なるべく好い方面に教導し度き心に他ならんのであるが教導の方法を知らない爲め斯の如き慘めな結果を來すのである。家庭外に於ても兒童の遊ぶべき運動場なく遊戲場なきため從つて兒童の天性に滿足を與ふる事が出來ない、其の結果浮浪不良の徒と化するもの尠くないのだ、よし不良の徒とならないでも兎角活潑の氣象は缺げて居る。

●先日不良少年に付き槇翁氏が書かれたが彼等の行爲を見るものは誰でも同感であらう、が彼等のみを責むるは少し酷のやうだ、全盛を極むる彼等の不良行爲は只彼等の親達や社會の罪の副産物に過ぎない。今彼等の墮落する本質を究めて見れば（一）先天的少し語弊はあるが幼少よりの慣習上惡事を惡事と思はぬもの（二）天的即ち誘惑の敗亡者（三）自暴自棄の爲かなりし者の三者あるが何れも敗けず劣らず痴態醜態を天下の眞中に曝け出し朝鮮人樂所の性分を中分なく發揮して居る。一錢の新聞や十錢の雜誌を買ふにも「一文を惜」むとも數十圓の腐肉に十數圓の料理は借金をしつゝ買ひ飲みして酒の廻り加減で腐肉の粉香とガソリンの惡臭とを惡習に混せこねて湯かまはず風を切り紅塵を捲き起す、心の弱きものは眞面に見るさへ出來かねるであらう。◎彼等にお灸をすゑるは結構々々だが病源の全治が何ほど必要だ。病源全治の下準備として病身の保養に力を用ふるやうだが保養をする間に病源は膏肓に這入つて仕舞ふ一時は苦しむかも知らんが永久に健康狀態に導くには鋭きメスにて其の病源を切り取り一度荒ら療治をせねばならぬ。

◎話は大分岐路に逸れたが兒童圖書館即教養所は兒童嗜好の書籍を自由に閲覽せしめ且目を樂ますべき種々美麗なる繪畫、娛樂機關及び其他の復習室等の設備を完備し以て兒童を喜ばしむるが故に兒童は喜んで此の圖書館に集合するのである、從つて不良不善の行動をなし或は眞似るに引きかへ圖書館内に於て圖書趣味を養ひ得る習を開き神話、傳說、歴史譚（此に導かるゝ機會も少い、又お伽の三者は内鮮間に關係あるものを多く用ふれば實に妙である）寓話自然界の話、實話等を以て彼等の天性に滿足を與へつゝ好く教導し得ば單り彼等の幸福なるのみならず延いて多大の利益を國家に與へ得ることと信ずるのである。兒童教養所創立に關する專門的に亙ることは略す。誰れか半島の兒童の救主となられる篤志家はなかろうか、自己の名を其の教養所と共に永久に傳へ得べき恰好の自己記念事業でもある。

◆溪間（南山公園にて）　石田富造筆

釋王寺鑛泉（上）

總督府醫院藥劑官　吉木彌三

▲位置及周圍の狀況●本鑛泉は咸鏡南道安邊郡文山面所在名刹釋王寺の境内に在り同寺俗門内約四丁の道路に沿ひたる溪流の右岸に露出せる大花崗岩の裂隙より湧出するを本冷鑛泉とす釋王寺境内は松樹其他雜木繁生し西北は朝鮮脊椎山脈の一部分を以て圍まれ北峰を雪峰山と謂ふ東南は解放せられ遙に安邊平野に連續せり。春は花一時に開きて其艶を競ひ夏は涼風徐ろに吹きて暑氣を忘れ秋は滿山の紅葉錦の如く冬は雪景天下に絕すといふ況んや地は是れ聖僧修業の淨境一たび此域に入れば俗塵を留めず心身爽たり

▲沿革●鑛泉の沿革に就ては成碑に記載なく詳細知るを得ざるも口碑に傳ふる所に依ば觀世音菩薩の授け給ふ靈泉にして百病に効あり昔時は噴出滾々として河を爲し遠近よりの集り來り汲飲するもの日夜續くとも絕ねず山寺の仙境を俗塵の地に化せんとするの勢ひありて寺僧之を憂ひ源泉を閉塞埋沒して今に至れりと云ふ大正三年九月京元鐵道開通に際し佐瀨某此地に遊び試に之を飲むに其味爽快にして大に胃腸を調和する力あるを覺り依て汎く世に紹介せんとする志を起せしも其の湧出量甚だ僅少にして實用に足らざるを憾み之を寺僧に計り源泉探査に從事し或は火藥を用ひて岩石を鑿ち或は上總式ボーリングを行ひ地中を探り掘鑿數箇月大正四年五月に至り湧出量豐富なる一源泉を發見する事を得たり同年八月官許を得て浴場を建設し一般人の入浴に供するに至れりといふ。

▲湧出の狀況●湧出孔は溪流の右岸に在る巨大なる花崗岩の龜裂より湧出するものにして茲に一般人の亂掬汚染を避けんが爲めに煉瓦を以て圍める一室を作り鎖を施せり本湧出孔の傍にタンクを設け吸上ポンプを以て汲上げたるものを管を以て約三百間を離るゝ所に導き更に一タンクに入れ沸したる湯を地下に導き隣接せる浴室内の浴槽に入るゝ如き設備を施せり一日の湧出量は約三十石に達す

▲交通●京元鐵道釋王寺驛より約三十丁にして釋王寺俗門に達す俗門の傍に温泉旅館甘泉亭あり俗門より溪流に沿うて上ること十丁にして釋王寺山門に達す。釋王寺は李王世祖の建立せるものにして規模の大、建築の宏莊、大に見るべきものあり驛より寺に至る間道路平坦にして車馬の交通自在なり加之風景絕佳にして婦女子の散策に好適なり汽車は元山より僅に一時間、京城よりは[illegible]時間にて達す

◆東幕より

五月廿一日　三笑生

●一昨日上。小生は、本日小閑を得て、東幕に參り候。麻浦には、往來したること數回に及び候へども、東幕は、今度が全くの初めにて候。平素は孔子と共に、京城附近の富豪村と云ふことを耳に致し居りしが此の地に來りて見れば、半ば土造りの大厦、何を並べ大倉小庫、建並たるを見て、眞に其氣分に打たれ申し候。

●東幕と麻浦とは、今より十四、五年前までは、八道物資の集散場にて、問屋の大なるもの、皆此の地に在りて、活動したるものゝ由に候ひしが、[illegible]道の敷設は、此地に一大打撃を加へ、更に京義、京元兩線の敷設に依りて、第二の打撃を受け、今は漢江の舟運による北江、南道の物資のみ、集散せられ居り候。

●今後若し輕便鐵道の北地方に敷設せらるゝことなれば、更に致命傷を受くるに至るべしと[illegible]

[illegible]

●東幕の[illegible]偉大なる[illegible]

●麻浦に遊ぶものは、麻浦と東幕との間に[illegible]二十[illegible]に[illegible]一大橋の[illegible]一見せらるべく候。是れ[illegible]氏が[illegible]去年十一月竣工したるものに候[illegible]

●朝鮮の地を旅行するものは、到る處に[illegible]不忘碑と刻せるものに候。是れ高陽郡[illegible]

●若し夫れ[illegible]

朝日報詩壇

雨中對花　大仁　松選

細雨絲絲家。庭中轉寂然。不分濃淡色。空帶淺深煙。灑淚枝頭鳥。咽聲巖側泉。暮鐘如有慟。洗藍白花妍。

評曰、不卽不離、能寫題意

湖山春曉圖　安東　琴雲

梅花倚檻曉星殘。湖上春風脈脈寒。大鏡磨光山欲笑。有人覓句駐驢鞍。

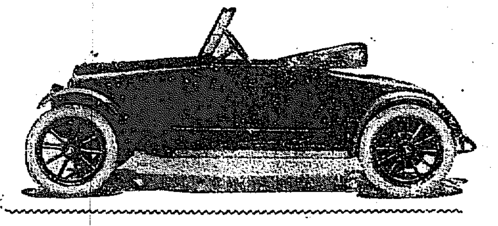
評曰　淡麗自然、

自動車賃金及時間表

水原 發	原州 着	原州 發	江陵 着
午前十時	午後三時五十分	翌日午前八時	午後七時

江陵 發	原州 着	原州 發	水原 着
午前八時	午後七時	翌午前九時	午後三時十分

	水原	新葛里	金良場	陽智	午川	利川	驪州	文幕	原州	安興	雲橋	芳林	大和	珍富	橫溪	邱山
新葛里	、四五															
金良場	、九〇	、四五														
陽智	一、二五	、八〇	、三五													
午川	一、六〇	一、一五	、七〇	、三五												
利川	二、一五	一、七〇	一、二五	、九〇	、五五											
驪州	三、〇五	二、六〇	二、一五	一、八〇	一、四五	、九〇										
文幕	三、九〇	三、四五	三、〇〇	二、六五	二、三〇	一、七五	、八五									
原州	四、五〇	四、〇五	三、六〇	三、二五	二、九〇	二、三五	一、四五	、六〇								
安興	六、五〇	六、〇五	五、六〇	五、二五	四、九〇	四、三五	三、四五	二、六〇	二、〇〇							
雲橋	七、六〇	七、一五	六、七〇	六、三五	六、〇〇	五、四五	四、五五	三、七〇	三、一〇	一、一〇						
芳林	八、五〇	八、〇五	七、六〇	七、二五	六、九〇	六、三五	五、四五	四、六〇	四、〇〇	二、〇〇	、九〇					
大和	八、九〇	八、四五	八、〇〇	七、六五	七、三〇	六、七五	五、八五	五、〇〇	四、四〇	二、四〇	一、三〇	、四〇				
珍富	一〇、五〇	一〇、〇五	九、六〇	九、二五	八、九〇	八、三五	七、四五	六、六〇	六、〇〇	四、〇〇	二、九〇	二、〇〇	一、六〇			
橫溪	一二、〇〇	一一、五五	一一、一〇	一〇、七五	一〇、四〇	九、八五	八、九五	八、一〇	七、五〇	五、五〇	四、四〇	三、五〇	三、一〇	一、五〇		
邱山	一三、二五	一二、八〇	一二、三五	一二、〇〇	一一、六五	一一、一〇	一〇、二〇	九、三五	八、七五	六、七五	五、六五	四、七五	四、三五	二、七五	一、二五	
江陵	一三、六五	一三、二〇	一二、七五	一二、四〇	一二、〇五	一一、五〇	一〇、六〇	九、七五	九、一五	七、一五	六、〇五	五、一五	四、七五	三、一五	一、六五	、四〇



水原江陵間　中央自動車開通

當組合に於て昨年九月水原原州間自動車營業開始仕り候處益々好評を博し營業發展致し候は乘客各位の御眷顧の結果と奉鳴謝候今般更らに數臺を新設し原州、江陵間運轉を開始致し來る六月一日より試運轉仕り候間一層御引立の程偏に願上候

京釜線水原驛　中央自動車組合　電話一四七番

絕へず流るゝ水は常に清澄なり

★サッポロビール

多く賣行くビールは常に新鮮なり

大日本麥酒株式會社京城出張所

◎同業罷業主謀者放逐命令

ホルワット長官は二十三日過般の同盟罷業の主謀者十三名を三日以内に沿線以外に放逐する事及び鐵道從業員執行委員會の解散を命じたり（哈爾賓電報）

▲別報

ホルワット長官は同盟罷業の首魁十三名を滿洲里に送り露領に追放せるが更に三十名を追放す可しと（哈爾賓電報）

◎東淸鐵道沿線司令官解職

東淸鐵道沿線總司令官に任命されたりしプレシロフは其行動兎角敵の手先たるやの疑ひありセミヨノフ一派と議合はずして遂に其職を解かれたり（哈爾賓電報）

◎財政援助交渉解決

ホルワット長官に對するセミヨノフ隊長の財政的援助交渉は圓滿に解決し二十四日セミヨノフ隊長は特別列車にて滿洲里に還れり是れを以て同軍の一大弱點たりし財政難は救濟さるゝ譯なるが其支給を受けたる金額は四千五百萬留なりと（哈爾賓電報）

◎日本の出兵を熱望す
後貝加爾州民塗炭の苦みより免れんとす

後貝加爾の事情に精通せる某有力者の談に依れば今や後貝加爾州民は擧つて日本の出兵に依りて塗炭の苦みより救はれん事を熱望し若し日本の出兵にして今後一、二箇月內に其の實行を見ずんば獨逸の俘虜に依賴して過激派を壓倒し秩序の維持を行ふの外途無しと見做し居れり（哈爾賓電報）

◎過激派 獨逸政府に抗議

ドン地方の獨逸軍司令官は過激派より要求せる軍事行動の停止を肯ぜざるを以て過激派代表者は獨逸政府が露西亞に對し侵略的意志を有する事を言明したるを楯に取り抗議を爲す筈（哈爾賓電報）

◎波蘭國建設計畫
協約の結果、墺波蘭の大部分を得ん

獨墺間に協約成立し墺國は露領波蘭の大部分を得る事となるべしされど波蘭國民は擧つて全部獨墺兩國より獨立し波蘭地方及びシレシヤ、ポーゼン、ダンチヒ等を包括する波蘭國を建設せん事を計畫しつゝあり（倫敦電報）

◎獨飛行機巴里襲擊

二十二日夜獨逸飛行機は二回巴里襲擊を試み二回目の襲擊隊は市中に數個の爆彈を投下せり（巴里電報）

◎陸軍兵器部の新設

廿四日閣議にて決定せる陸軍兵器廠條令改正の結果陸軍兵器部を制定する事と爲りたり其內容は各師團所在地の兵器支廠を廢し師團直屬の兵器部を新設し是れが部長に少佐級を以て充つるにあり但し東京、名古屋、大阪、廣島、小倉、朝鮮の六支廠は是れを現在の儘とし陸軍本省の管轄に屬せしむ（東京電話）

◎小口落禁止 實行難の陳情

東京株式取引所郷理事長以下京都、名古屋の株式取引所理事等は二十五日正午農商務省に出頭し小口落禁止に關し株式は米穀と異なり實行上困難なる點多きより相當考慮期間を與へられたき旨陳情する處ありしが是れに對し岡商工局長は其意を諒とし實行期に就て相當考慮を爲す可き旨答ふる處ありたり（東京特電）

◎警察部長異動

京都府警察部長以下十八府縣の警察部長の異動二十五日發表されたり（東京特電）

◎議員團北京著

濱田國松氏を團長とせる議員團一行は二十四日北京に著せり一行は二十五日段總理、外交總長を訪ひ二十七日馮大總統に謁見し二十八日漢口に向ふ豫定也（北京特電）

◎支那幣制改革

東京商業會議所は支那の幣制改革の急務は未だしと雖も既に大阪商業會議所は意見を取纏め兩國貿易の支障を除[illegible]準備中なる[illegible]を見る時は今日迄の努力全く水泡に[illegible]那が今後如何なる行動に出づ可き[illegible]加索地方より印度を脅威せんとす[illegible]の發展容易に企圖す可からずとせ[illegible]

◎新醫學博士

南滿醫學堂教授境繁彌太氏（千葉縣人）は今回論文提出に依り醫學博士の學位を授與さるゝ事に決定せり（東京特電）

◎總督西巡

長谷川總督は平北大正水利組合竣工式臨席及び巡察の爲め釜屋、高橋武官副官、秘書官を隨へ廿六日午前八時二十分南大門驛發臨時列車にて出發す可し

◎物價暴騰比較
京城東京倫敦紐育四地に於ける戰前と最近の騰貴率

戰爭開始以來物價がいかに騰貴したかと云ふ事は戰爭の始まつた大正三年七月の物價を一〇〇としその後の表を現はした左の數字の如く京城は去る三月末既に戰前物價の二倍強になつて居り東京は二倍弱倫敦は二倍二分七厘、紐育は二倍弱九厘を示してゐる乃ち京城の重要商品物價の騰貴率は東京より幾分高く米國の紐育や英國の倫敦に比し若干低位であるけれど國を擧げて戰爭に從事せる英米と餘り差のない事が知らるゝ左の表は京城の分は朝鮮銀行調査東京の分は日本銀行調査倫敦の分はエコノミスト紐育の分はブラッドストリートの調査に據つたものである

	京城	東京	倫敦	紐育
大正三年七月	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
大正三年十二月末	九七	九九	一〇六	一〇七
大正四年末	九七	一〇二	一二九	一一四
大正五年末	一一六	一二三	一六八	一三七
大正六年末	一五五	一五六	二二四	一八二
大正七年一月	一九〇	一八一	二三六	二〇九
大正七年二月	一九九	一八八	二三七	二〇九
大正七年三月	二〇四	一九三	—	二〇九

乃ち倫敦紐育の兩地に於ては戰爭の始めの當年から既に物價の騰貴を見以來逐年その暴騰の趨勢を續けつゝ今日に至つてゐるが京城と東京は稍趣きを異にし東京は大正四年末に於て既に幾分騰貴を來して居るけれど京城に於ける物價は三年末●四年末共戰爭開始の大正三年七月より寧ろ低落の傾向あり、大正五年より列國戰時政策の影響を受けて運騰し大正六年米國の參戰して物價は非常の刺戟を受け指數は大正六年末は五年末より四十七の暴騰を來してゐるが更に大正七年に至つては一月に三十五を騰げ二月に九、三月に五の騰率を示したるは注目に値する物價騰貴生活難の聲の近來盛んに起つたのは當然と云つてよい

◎國境貿易系統

從來間島貿易は淸津系、吉林系、琿春系及び寧古塔系にして琿春系は重もに露支國境貿易に屬するものなるが今最近に於ける諸調査に準據し各系統の總貿易額百分比率を割出すに如左

淸津系	七七	琿春系	二
吉林系	一〇	哈爾賓系	一一
計	一〇〇		

以上の如き狀態にして間島貿易上吉林系露支國境貿易の衰退は獨り淸津系をして益々旺盛ならしめたりと謂ふべく、今淸津系間島貿易より推定して前記の百分比率に割當つる時は間島全體の總貿易額を窺知すべく卽ち大正六年に於ける淸津系間島貿易は約二百十七萬圓なるを以て同年に於ける間島貿易額は約二百八十萬圓乃至三百萬圓に達すべし（淸津）

◎本年新設燈臺 伊藤海事課長談

大正七年度中遞信局に於て施設する燈臺は新設改善を併せ四箇所にして既に諸調査終了近く工事に取掛る筈なるが場所は（一）咸南元山港の葛麻（二）慶南馬山灣內の磨崖嶼（三）釜山港內の鍋商礁（四）は同港內浮鳳末にて葛麻は從來燈竿を有しゐたるも光力微弱にして赤色假燈なりしため今回アガ式の白色二閃光に改造するものにして又慶南馬山灣內の磨崖嶼挂燈立標は全く新設にて近來鎭海馬山に對し出入する船舶多く挂燈立標の設備を要するに至りしもの又釜山港內の鍋商礁の挂燈立標は綠色單閃光、浮鳳末の挂燈は白色單閃光にて共に釜山港出入船舶の激增に伴ないその改善施設の必要を生じたるものなり

◎鮮銀露語講習

鮮銀行にては過般調査局第二課勤務囑託として入行せし露人ストロ、ミロフ氏を講師とし二十七日午後五時より每日一時間宛行內講習室に於て露語講習を行ふ事となりしが講習參加申込みの行員百二十餘名の多數に達したり尙ほミロフ氏は語學の天才と云ふべく露語は勿論英支佛の各國語に通じ日語をも了解し更に朝鮮語の研究を行務の餘暇に開始したりと

◎中旬鮮鐵成績

五月中旬に於ける鮮鐵の營業成績は客車收入十八萬七百二十七圓、貨車收入二十萬三千七百八十六圓合計三十九萬二千五百十三圓にして前年同期に比し十萬四千八百九十八圓の增收となれり

◎鬱境間船舶會社

從來鬱陵島と境港（島根縣）間に於ける連絡機關は僅かに四艘の帆船と不定期に境港より來る石油發動機船一艘のみなりしを以て常に貨物の停滯し不便少なからざるより鬱陵島有志間に於ては運輸能力の增大に關し畫策する所あり客月中旬創立委員藤野金太郞外二名を境港に派し同港の有志者と協議する所ありしに双方の意見一致し資本金五萬圓の株式會社を組織し是を鬱境船舶株式會社と稱し差當り帆船九十噸級一艘の新造に著手し七月頃竣工回航の豫定なりと

◎裁新行員訓諭 鮮銀

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は二十四日午後五時より階上第一應接室にて本年入行せる本店諸行員百廿餘名を召集し銀行員としての覺悟並に注意等に關し約一時間に亙り懇諭せり

◎土木協會役員會

朝鮮土木協會にては二十七日午後一時より土木協會事務所に於て同會役員會を開會す可し

◎阪口社長入京

京城工業株式會社長阪口猶三氏は南山商會組織變更事務引繼の爲め二十四日朝入京不知火旅館に投せり

◎小學校設置認可

新東學校組合設置代表者荒賀熊藏氏より申請中なりし新東公立尋常小學校を京畿道始興郡新東面鑛室里に設置の件は五月二十三日附を以て認可せられたり

◎大阪財界便り

▲對外放資傾向 歐洲開戰以來大正六年度末即ち三箇年五箇月間に於ける我國の對外放資額は外債應募五億三千三百四十萬九千圓民間銀行會社の諸外國公債等買入一億三千八百六十四萬二千九百廿二圓對支放資八千百十七萬九百六十二圓合計七億五千三百廿二萬二千八百八十四圓此中既に回收又は償戻したるもの一億六千七百七十一萬八千五百八十四圓尙ほ五億八千五百五十萬四千三百圓の多額を計上し居れり更に本年に入りての形勢を見るに全く我國の對外放資は對支放資に集中せられたかの觀あり即ち幣制借款一千萬圓電信借款二千萬圓經濟借款三千萬圓無線電信借款三百萬圓陝西借款濟南順德鐵道借款二千萬圓總計九千二百萬圓を計上するに至りたり

▲金融界不變 金融界は內債五千萬圓を目前に控へ居れるも前日と變らずコール翌日拂六厘を保合ひ居れるが內債五千萬圓の中約二千萬圓は當地にて應募さるべき筈なるにも拘らず依然としてコールの低利にあるは一面衛政府筋の緩和策に因るものと見られざるにあらず日曜明けの二十日には多少の引締りを見越されざるに非らざるも今回の內債は申込期日前と雖も受付け得るを以て內債の影響ありとすれば今日に於て既に幾分を表すべき筈なるを以て內債は意外の好況裡に締切られ金融界は何等之れが影響を受くる事なく月末までは大なる昂騰はなかるべし而して月末に至りては例月の資金需要の外に製絲資金の需要あり加ふるに興銀社債一億圓の賣出を氣構へ居れるが若し同社債にして七八月に延引するに於ては政府が今回の成績に鑑み更らに六月に於て募債を爲すやも知れず旁々以て月末より來月に亙りて金融界は繁忙を來すならんと

▲昨今の砂糖界 連日軟調を辿り居れる粗糖は十八日十六圓二十錢と前日より更らに二十錢の低落を見たるが爪哇糖は既に日本支那爪哇線汽船二隻を以て本邦へ積出されたるを以て來月中旬には著荷を見るべく最近爪哇糖抑留關船の解放說あり船腹の緩和を見るに於ては更らに爪哇糖の出廻りを見るべきを以て前途尙低落を氣構へ安値にも買物出でず氣迷の狀にあり

▲綿糸安と冬織物 織物界は夏物取引略終了を告げ冬物試織に著手したるが綿絲が四圓より約百圓を低下して三百二三十圓となりたる爲め機業家としては冬物準備買付に對して頗る好都合なりと云ふべきも而も昨年の大變動は太く機業家を脅かし何時二百圓臺を出現するやも知れずとの警戒心あり低落每に尙安値を氣構ふ結果精々一箇月位の原絲を買入るゝに過ぎず昨年とは全然正反對の現象を呈し居れりされど冬物著手期に當りて原絲の安値なるは高値にあるよりも好都合なる事勿論にして夏物の生産減退を恢復して冬物は多少生産增加を見るべきかと

▲刷子制限影響 輸出刷子は米國制限の爲め齒磨刷子を除く外米國輸出不能となりたる爲め註文杜絕し同業者は多大の打擊を受けたるが新に輸出地を開拓するの方針に出で目下寄々準備を進め居れるを以て遠からず輸出を見るに至るべし（大阪支局）

◎佛紙日支協定批評

「ル、タン」紙は日支協定を評して曰く自己の自由を確保せんとする各國の利益は今や極東に於て結合せられたり北京協約は協同的努力に向つて進む第一階梯なり吾紙は此大戰の結果の一として日支兩國間を益親厚ならしめたるを欣ぶと（巴里電報）

◎英政府と日支協定

英國政府は二十二日受電せる日支協定成立に關し滿足の意を表明し居れり（倫敦特電）

◎陸氏和戰兩樣準備

陸榮廷氏は和戰兩樣の準備を爲し其本營を梧州に進め且つ伍廷芳氏に妥協を一任せりと（北京特電）

◎保安林解除

京畿道高陽郡崇仁面[illegible]所有林野三町步餘は二十五日官報告示を以て保安林解除せらる

◎客月中の穀價

當局の調査に依る四月中京城に於ける重要穀物に關する一石當り價格を聞くに左の如し

玄米上二十二圓四十錢中二十一圓九十錢下二十一圓四十錢▲中白米上二十五圓中二十四圓五十錢下二十四圓▲精米上二十六圓六十錢中二十六圓十錢下二十五圓六十錢▲籾上十二圓十六錢中十一圓八十五錢下十一圓二十錢▲[illegible]十四圓[illegible]二十二圓▲大麥上九圓四十錢中九圓十錢下八圓七十錢▲小麥上十七圓三十四錢中十六圓八十一錢下十六圓四十二錢▲大豆上十五圓九十七錢中十五圓十五錢下十五圓三十二錢▲小豆上十八圓三十四錢中十七圓三十二錢下十五圓七十一錢

◎井上博士通過

文學博士井上圓了氏は對馬丸にて二十五日夕著釜同午後十一時半發列車にて京城に向ひたり（釜山特電）

◎兵庫縣人會春季例會

兵庫縣人會にては二十五日午後一時より淸華亭に於て春季例會開會、美濃部會長を初め來會者五十餘名に達し模擬店餘興等あり非常の盛會裡に散會したり

◎大田雜信

▲傳習所開所式 大田蠶業傳習所開所式は來る二十七日擧行の筈なるが當日は上林道長官の臨席あるべし▲織布會社創立 在大田某々氏等は大阪の晝木家と協議の上大田に於てタオル布綿布等の製織を目的とする織布會社創立の計畫あり目下調査中なりと▲藥令市開設 昨冬大田に開設したる藥令市は取引總高十萬圓に達し空前の記錄を作りしが更らに本夏期を利用し市開設の議あり▲長崎縣人野遊會 大田在住長崎縣人は二十六日の日曜日を卜し大田神社境內に於て一壺一瓢持ち寄りの野遊會を催す筈なるが同縣人の來會を歡迎すと

◎京畿乳用牛種別

最近の調査に依る京畿道管內に於ける乳用牛の種類別を聞くに外國種三十九頭雜種二百五十二頭朝鮮種三百三十八頭なりと

◎林慶太郞氏赴任期

京城電氣會社會計課長より北海道拓殖銀行秘書役に轉ぜる林慶太郞氏は來る廿九日朝出發赴任すべしと

人事消息

▲岡田榮氏（代議士）二十六日夜內地より歸京の筈
▲齋藤祭平氏（鏡城慈惠醫院長）廿五日夜入京本町山本旅館へ
▲岩淵友次氏（會寧慈惠醫院長）同上
▲中川武氏（間島慈惠醫院長）同上
▲川合得二氏（東京日本製鐵會社相談役）同上大貞根へ
▲川島懸氏（湖南日報社長）同上
▲木村林二郞氏（三菱兼二浦出張所長）同上
▲久保山口高商教授以下同校生四名同府金へ
▲平田憲兵大尉 廿五日夜退京
▲藤山雷太氏 同上

仁政殿拜觀 牡丹恭賦　大垣金陵
如錦翁
階前凝彩霞。競艶牡丹花。
衆庶喜叨賞。天香滿漢家。

會員募集
漢學講義錄
講義錄見本付 新學期開講・速成一ヶ年卒業・會費最低廉・記念ヘ特典提供・時文添削・質疑應答
會則申込次第無代進呈
東京神田區裏神保町二 帝國漢學普及會

建築界の福音 石灰
■本石灰は平壤小野田セメント會社に依賴して特に製造せしめたるものにして色澤純白、品質精良、粘著力耐久力に富むこと內地產を凌駕せり
■本石灰は一俵六斗入に有之御申越次第見本進呈可仕大口又は地方よりの御注文に對しては特に勉强可致候間多少に不係御用命を乞ふ
地方特約販賣御希望の方は左記苫米地商店に御申込ありたし、平壤の價格は富田商會に御照會を乞ふ
發賣元 三井物產株式會社京城支店 京城古市町一四番地電九四一・三一〇八番 振替京五三三
一手特約店 苫米地商店 京城本町二丁目三十番地電三七〇番
京城特約店 山本村太郞 京城旭町一丁目電話九八四番
京城特約店 戶澤商店
平壤特約店 富田商店 平壤港町電話二三六番

かつけよ
尾崎糠精
村井弦齋先生 命名 實驗證明
販賣元 尾崎商會 東京市中澁谷町
●全國各藥店にあり

各位益々御繁榮奉大賀候陳者弊行從來より工事部を置き主任宮川和一氏の名義を以て諸官衙各位の御引立に預り建築請負罷在候處今般都合に依り合意上弊行工事部なる名義を去月末より廢止し弊行は材木商を專業とし爾今工事請負に對しては取引上一切何等の關係無之候前述の通り今後弊行は專心材木業に勉勵仕候に付双方共一層の御愛顧の程懇願旁謹告候也

大正七年五月　京城府岡崎町
㊇ 三幸洋行　主 山名松太郞

陳者私儀從來三幸洋行工事部主任として建築請負業に從事罷有候處去月末より都合に依り双方合議の上從來の工事部に關する業務一切を引繼ぎ獨立致し宮川組の名稱の下に經營致す事に相成候間倍舊の御同情御引立を賜はり度此段御挨拶旁々右懇願仕候 敬具

京城府岡崎町 土木建築請負業
宮川組　主 宮川和一

[illegible]に接觸すべき事の内議を決定し案を具へて豫め阪谷男の審議を俟めたる上内地各重要會議[illegible]に於て戶田博士も之を[illegible]て支那の惡感を挑發する所以也と論じたりと云へり横濱商業會議所[illegible]八月頃主要會議所會合の機會に於て何等かの方法により會議所側の

[illegible]近再びアミアン及びイープル方面に攻勢を開始す可く之が[illegible]めず獨軍亦容易に進出す可しとも見ねざるが獨軍は此儘攻勢を中止[illegible]ざれば已まざる可く何時其の企圖を廢棄せざるは勿論なるが獨[illegible]國及び土耳其波斯等の近東方面に甚だ著しきものあるが如く即ち高[illegible]手を伸ばして印度に至る通路を掘せんとを企てつつあり西部戰線

◉發疹チブスとは什麼もの（下）

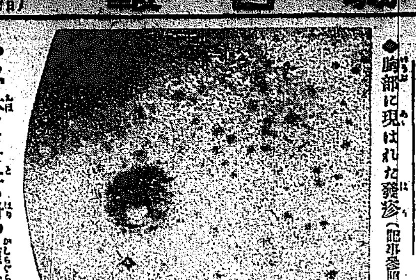
並木町附近は其の巢窟　虱は恐るべき病菌の媒介者

◇大酒家、脂肪性、老人は經過が惡い。

山口順化院長談

京城では近來殊に發疹チブスの爲めに斃れる者が多いやうであるが、主として並木町、西四軒町、獎忠壇附近から患者の出るのは最も注意すべき現象であらう。聞けば前述の各區域は京城に於ける發疹チブスの巢窟と云ふべく區域内居住者は勿論一般に戒の上にも戒せねばならぬ處である。發疹チブスに罹ると多くは惡寒又は

▣**戰慄を覺え**一日二日も經つと體溫は急激に三十九度から四十度にも上る。同時に脈搏も多くなり心臟の働きも弱つて來るが其最も特徵とする所は發病後五日目あたりから病名通りの發疹が現はれて來ることである。此發疹は先づ胸から腕にかけて多數に現はれ次で腹、腿、脊などに現はれるのが常で偶には顏面に發疹する事



◆胸部に現はれた發疹（記事參照）

もある。大きさは止め針の頭位のものから麻の實位、初めは

▣**淡紅色で**あるが次第に其色が濃くなり指で押した位では迚も消ねない。尚神經症狀が著しく頭痛を訴へたり意識が不明瞭になつたり或は譫言を發したりする點なども亦本病の特徵である。腸チブスに比べると潜伏期は非常に短かく通常八日乃至十二日最も短いのは四日位で發病し永いのでも十四日位であるが、本病の最も恐るべき

▣**媒介者は**虱である。患者の血液を吸うた虱は三日乃至五日間は傳染力を有し其虱の子即ち第二代の虱も亦同樣の傳染力を持つて居る。今の處蚤、南京蟲は病毒を媒介せぬと云ふ事になつて居るが之とて同じく人の血を吸ふものである以上却々油斷は出來ない。又本病は何等の媒介者なしに患者の咳嗽若くは接觸等に依つて

▣**直接傳染**することもある。だから本院でも一旦此患者の病室に持ち込んだものは決して外へ持ち出さぬ事にして居る。何しろ病源が判らぬので目下の處本病に對する治療法と云ふものはなく對症療法を施すの外ないが手當さへ早ければ助からぬ事はない。唯日頃大酒を飲む人、脂肪性の人及び四十歲以上の人になると何うも經過が面白くない樣である殊に

▣**六十歲以**上の老人になると其三分の一乃至二分の一は死んで了ふ。幸ひ藥が効を奏して全快すれば發疹は少しも痕跡を止めず癒の通りの身體になるが、此病氣に罹ると大抵のものが普通の熱病位に思つて手當を懈り愚圖々々して居る間に遠慮なく病菌をバラ撒くから恐ろしい、一般の豫防法としては常に身體、著衣、住宅の清潔に心掛け身體内部の

▣**抵抗力を**養ふ事が最も肝要である。無論患者に接近するなどは禁物だが無意識に近する場合がないとも云へぬから、矢り此清潔と抵抗力の涵養を金條玉條とするより外好い方法もあるまい。（終り）

◉總督府給仕を裝ふ　萬引の少年

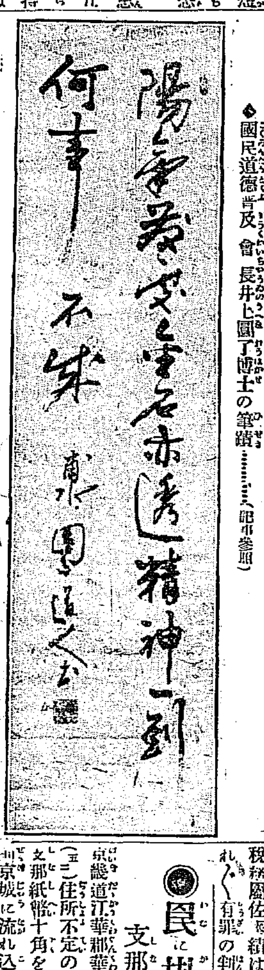
二十四日午後八時頃富平町藤井重郎の經營せる釜山棧橋寶店洋酒部へ年頃十四五位の總督府給仕の帽子を被り木綿紺絣に袴を穿ち腕時計を箝めたる少年來り葡萄酒一瓶と鑵詰一鑵とを八十錢にて買ひ求めたる後葡萄酒の栓を拔て吳れとか鑵詰の口を切つて吳れよとか云ふにぞ店番の者は四五軒先きへ栓拔きを借りに行きたる隙を窺ひ貨溜の中より金を窃取したるを店番の者が歸り來りて發見し取押へて棧橋派出所へ伴行き已要巡査へ一應取調べたる處此の少年（總督府總務課の給仕にて父は水原警察署の巡査を拜命せる來迎大吉なりと申立てたるも怪しき點あるより猶ほ取調べたるに遂に自分は忠南道天安居住田中岩太郎の倅芳夫（一五）といふものにて前記寶店にて一圓五十錢と外に南濱某漁具店より同一の手段にて金一圓を窃取したる旨自白したるが餘罪ある見込にて猶ほ取調中（釜山）

◉今治高女生　野球練習

＝體育のため

◇試驗制度を廢止す

愛媛縣今治高等女學校にては試驗制度を廢止し且つ體育の爲め女生徒に野球を練習せしむる事とし每日放課後實施しつゝあり（東京特電）



◆國民道德普及會長井上圓了博士の筆蹟……（記事參照）

夏物珍柄陳列會　生花盆栽展覽會　廿六日も開催（午前九時より午後六時まで）

◉妖怪博士

哲學堂建立の爲　＝揮毫の需めに應ぜん＝

朝鮮總督府囑託として朝鮮十三道を巡講すべく二十六日朝入京す可き文學博士井上圓了氏は帝大文科第一期頃の出身にて哲學館即ち今の東洋大學の創立經營者として

▼▲**哲學思想**の幼稚なりし日本に哲學思想の普及に盡瘁せしことは人々の知る所なるが氏は心理學上より通俗的に妖怪を說明して迷信打破に盡瘁し妖怪博士としても名高き人なるが近時國民道德の頽廢甚しきを慨き國民道德普及會なるものを起し日本全國を巡講し國粹の保持と

▼▲**國民道德**の涵養鼓吹に努むること十餘年四十餘州四百餘郡二千六百四十餘箇所聽講者五百萬人と云ふ數に及ぶと云ふ氏は歐米各國に遊ぶこと三回其他印度及び支那の各地を巡遊し足跡殆んど全世界に及び六十歲の今日尙は南船北馬殆ど寧日無しと云ふ矍鑠ぶりなり氏は學者に珍しく書道に堪能なる所を以て國民道德普及及び氏が多年經營中の哲學堂建立費に充てん爲め巡講の餘暇を以て

▼▲**揮毫の需**めに應ずること〻なし居れり、潤筆料は半折二圓全紙三圓以上の程度にて謝禮する望者は博士止宿の京城ホテルに直接申込まれても善く又本社なり朝鮮及び滿洲社の方へ申込まれても宜し博士の遺懷に『書を書きて耻を書くのも今しばし哲學堂の出來上るまで』と云ふ狂歌あり

◉收賄縣屬有罪

名古屋の有名なる綿絲商品友店員の贈賄税務屬の横領其他贈收賄事件は廿四日名古屋地方裁判所にて税務屬佐藤は懲役二箇年其他夫れ〲有罪の判決ありたり（名古屋電報）

◉民に掛った犯人

支那紙幣僞造者

京畿道江華郡華蓋面鳳留里全應純（五二）住所不定の金益注（六五）兩名は支那紙幣十角を僞造せんと十數日京城に流れ込み僞造に要する機械及び材料等若干を購入し西界洞に鉢哲方の屋根裏に隱匿し置き僞造したる一枚の見本紙幣を携へ出資者を物色せんと京城市内方々を徘徊中京城憲兵分隊特務補助員の家に舞ひ込み出資方を勸誘したるより然らば機械等一切を實見したる後資金を提供すべしと稱して遂に兩名の犯跡を突き止めたる上二十四日逮捕し目下取調中

◉中山氏起訴說

久原鑛業重役中山說太郎氏は京都市長選擧に際し池原氏の爲め一萬數千圓を出せし形跡ありしが廿四日京都地方裁判所檢事局にて不拘束の儘起訴したりと傳へらる（京都電報）

◇珍柄陳列◇生花盆栽◇會第一日

本社主催　今日も開催

人の渦！

◇天勝が紺地縮を買ふ　本社で開催して居る珍柄陳列會及び生花盆栽展覽會の第一日は午後から一層の人出に賑うた、階上階下共往來の出來る限りは目迴ぐるしい程の人の渦が自らなる珍柄をつくる、人出の多いに伴うて商品の賣行も午前に倍し目醒しいものはドン〱飛んで行く、殊に

◙**赤ちゃん**用の著物なぞは賑い上にも賑いので幾ら有つても足りないと云ふ有樣、出品商店の番頭さんや小僧さんは其補充に目を廻はして居た、午後二時頃目下黃金館で開演中の天勝が、ダンサーの今村靜子を連れて俥を乘りつける

◇『天勝が……』と會場は俄かに色めき立つたが一人け澄ましたもの、白の上衣に黑のスカートと云ふ瀟洒な洋裝で靜かに渦の中の人となり、先づ階下の生花を見た上階上の陳列場に向ひ處狹き迄に陳べ立てた珍柄の前を往きつ戾りつ熱心に見て歩るいたが、結局

◙**紺地漣縮**の浴衣は餘つ程氣に入つたらしく五六枚ばかり買ひ込んだ、斯くて二人は工場を巡覽したが活字の鑄造は大層興味を惹いたと見ね、ダイヤの耀々と光る指先に今し鑄造したばかりの活字を摘み上げたり鉛の飛び出す孔を覗き込んだりと云ふ有樣……二人は三時過ぎ本社を引き揚げたが

◇一般の觀客は七時の閉會迄入れ代り立ち替り詰め掛けて却々の盛況であつた、珍柄陳列會及び生花盆栽展覽會は二十六日も引續いて開催し雨天でも決して休會するやうなことはないから、成可く多數誘ひ合せてお出懸け下さるやうお願ひしておく

◇本社陳列會の盛況

珍柄陳列會（中央）盆栽展覽會（右上）陳列會に來れる天勝と今村靜子（左上）生花展覽會（下）

◉米國赤十字音樂會

米國赤十字社にては戰時臨時費に充つる爲め米本國並に米國民の所在地に於いて一億萬圓の醵金を得んとし内地及び朝鮮には五萬圓の募集割當額にて過般來在鮮米人間に於いて盛んに運動中に在り已に平壤、雲山、遂安の各地に於て慈善演藝會を擧行したるが京城にては二十七日午後八時より朝鮮ホテルに於て同樣の音樂會を催ほし切符は二圓三圓五圓の三種にて穩々面白き演奏をなす由

◉海事審判

二十八日午前十時より遞信局構内海事審判廷にて朝鮮郵船昌平丸船長大島傳藏に對し職務怠慢職務上の過失に關する海事審判開廷の筈

◉美術研究會

京城美術研究會は既報の如く廿六日午後一時より昌慶苑博物館に於て例會を開く筈なるが會員は同館所藏の美術品につき末松[illegible]苑課長並に八木囑託の說明を聽き取り終つて各自持ち寄りの珍品につき說明を試み夫々鑑賞に資する筈出席の會員は四十名に達すべしと

法人登記公告

平昌地方金融組合登記事項中、組合長任期滿了ニ付大正七年四月貳拾九日定時總會ニ於テ左記ノ者當選同年五月拾參日就任ス
平昌郡平昌面下里四百六番地　金東秉
右大正七年六月貳拾壹日登記
京城地方法院平昌出張所

轉居

京都市下京區下河原町（高臺寺南門北）
長島晶次郎
右紙上を以て御厚誼諸君に謹告す　七、五、二〇

懷中電燈
京城本町二丁目　電話二九一八　振替京城二三一八
川合時計店

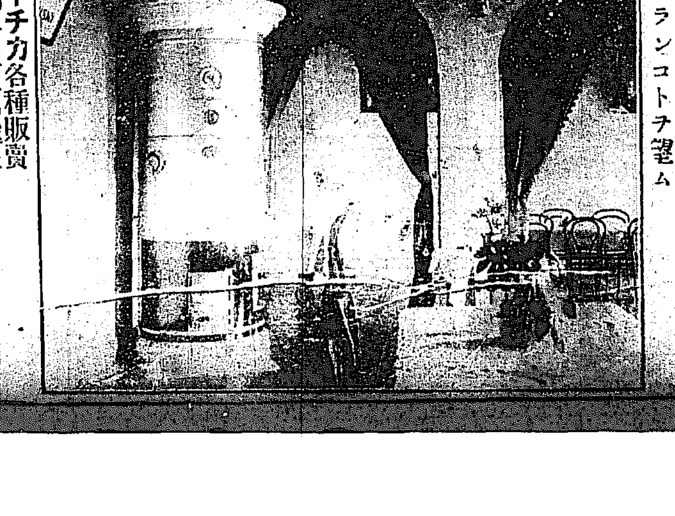
總監部御認可、衛生無害
取散
室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして斃死するは請合なり其他戶外に出でアラユル害虫に有効
全鮮一手引請捌元　京城南大門倉町交番前　島田藥房
▲各地藥店雜貨店に販賣す
▲特約店及び商希望の方照會乞

大連燒酎
先づ一瓶を求めて他に超越せる芳烈なる香味を試よ
特約販賣店
仁川　河野竹之助
木浦　阿部儀右衛門
同　山口幸三郎
釜山　增永榮三郎
同　山邑支店
鎮南浦　吉富清助
釀造元大連燒酎製造所

一服にてきゝめある
くだりどめ　高貴藥
清腸（セイチヨー）
オブラート添附
主治　腸加答兒　痢病　裏急後重　霍亂　水傷　其他食傷等より起る一切の下痢病
價　金拾錢　金廿錢　金五拾錢　金壹圓
本舖　大阪堂島元網　高橋盛大堂藥局
發賣　同心齋橋博勞町　高橋盛大堂分店
●各地到る處の藥店に販賣す

◀桑種子著荷▶

農業家　養蠶家　諸君
農具　開墾用、園藝用、耕耘用、除草用、其他各種
蠶具　飼育、製糸、消毒、査用各種
肥料　過燐酸石灰、大豆粕、油粕、骨粉、硫酸アンモニヤ人造肥料各種
土佐產純魯桑種子　一等撰品一升金十圓　一等品一升金八圓
薩摩產純魯桑種子　一等撰品一升金五圓五十錢　一等品一升金四圓
普通桑種子　一等品一升金二圓五十錢
但し荷造費及送料は實費申受候事
本月末入荷可致當分の内右價格を以て御引受申候間至急御用命被下度願上候
京城府南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
電話長四〇三番・振替京城三七八番



此外置ペーチカ各種販賣
○說明書御一報次第送呈
京城府龍山漢江通八番地
ペーチカ築設專門　宮崎組
電話五四二番

謹告

今回京城日報社ニ於テ行ハレタル防寒建築圖案募集ノ結果優等ニ當選シタルモノガ總テ申合ハセタルガ如クペーチカヲ採用セルハ近來ペーチカノ眞價ガ如何ニ識者間ニ認メラル、ニ至リタルカヲ知ルニ足ル然レ尼名ハ等シクペーチカト稱シ外觀一見異ナラザルカ如キモ其内部ノ構造並ニ附屬金物等ニ至リテハ著シク相違シ從テ外觀ノ醜美、耐久力ノ強弱、暖房能率ノ優劣並ニ取扱上ノ難易等ハ全ク同日ノ談ニアラズ故ニ若モ完全ナルペーチカノ設備ヲ得ント欲セバ須ラク專賣特許宮崎式ペーチカヲ撰擇シ注文ノ際ハ特ニ『宮崎式ペーチカ』ト御指定アランコトヲ望ム

花吹雪

大阪　中谷青霞

（四十二）

只戀しき一念に、うか／＼と釣り出された唐土、日頃床しき移り香の主人と思ひきや、編笠取つたはあらぬ男の町奴、柳川香雨なるに、ヘツと驚くと共に、口惜しさの念がむら／＼と湧き上り。

『さては贋手紙で妾を愛まで釣り寄せたのも、皆お前様ぢやな。』

と柳眉を逆立てゝ屹と詰め寄る香雨は憎さ氣に鼻の先にてふゝと打笑み。

『さうぢや、手紙を持たせて迎ひに遣つたはこの香雨ぢや。然うとは知らず主税之助に逢はうとばかり、うか／＼來た迂濶者、飛んで火に入る夏の虫ぢやわ、これ唐土、耳を浚へてようお聞きやれ、いつぞや吉原の茶會にはお數寄屋坊主の了俊に妨げられ、本意もなう取逃したが巳み難い男の意地、兵馬樣と申合せ、再び小梅の寮を取卷いたを、青二才の畫策に乘せられ、取逃した無念さ、倘其上におぬし故にさま／＼面目を失うたこの香雨、マンマと愛まで釣り出されてうか／＼來たは百年目、さア兵馬樣お躾まで同伴して呉れる。』

と云ひ乍らムヅと唐土の帶際引摑む。

『ねー又しても無體の所業、女と侮り慮外なされたなら、用捨はしませぬぞ。』

と唐土は懷ろに記念の笄、小柄のあたりをヒシと握り占める。

『これ唐土ジタバタしても最う叶はぬ、有樣仔細を云へば事永いが兵馬樣には最早未練氣は更らにもないおぬし、邸へ引いて手籠めにしやうなど、野暮な達引するではない、外に少々胸算む仔細のあつておぬしを囮にさる者を引寄せやうとまでの策略、用が濟めば事なう返して遣すのぢや、それでもおぬしは厭と云ふか。』

『厭でござりまする、ねゝ其處放して。』

と唐土は振切つて逃げんとする。

『むー仔細を明かしこれ程云ふに厭とあれば已むを得ぬ、それ者共出合へ。』

と叫び乍ら香雨は唐土の手をムヅと取つて背らに引廻す。

『ねゝ何となさる。』

と叶はぬ迄も振り拂うて逃げんとする處を、縁の下から二三人の町奴、豫て忍ばせ置いたと見ゆ、香雨の聲にオーと答へて躍り出で、有無を云はせず手拭扱いて背後手に引縛る。

『あゝもしお寺の衆、誰か來て……。』

聲を限りに呼立つる唐土。

『ねー騒がしい、聲を立てさせては事面倒ぢや、それ猿轡して引立ていろ。』

と香雨が指圖に、奴共遮二無二猿轡して引立つる。

『誰かに行け、門を出たらば豫ての手筈、籠の用意はしてあるか。』

『ねゝ可う御座りますわ』

囁き乍らぢか／＼と堂の縁を一陣り、石段を下らんとする、出合頭につゝくと立つた一人の僧。

『ねーその女性を何とするぞ。』

言ふかと見ると唐土を掴りとつて後に引戻し、町奴が宙に浮いた腰の番ひをハタと蹴る、蹴られて奴は途端にかゝつて石段をごろ／＼。

『やー又しても了俊か……。』

と後に殘つた奴共、坊主頭を透して見て屹と身を構へる。

『天から降つたか地から湧いたか見馴れぬ僧、何用あつて無禮の行爲、ねゝ何奴ぞ、名乘れ。』

と香雨も闇を透して刀の柄に手をかける僧に唐土を背後に囲うて、

『了俊とやらでもなければ、天から降つたでも地から湧いたでもムらぬ、當院の住僧雲涯と云ふものぢやわ。』

藥浴用　福王湯　人蔘湯　一週分一円　二週分一円卅錢
京城府南大門通二丁目　朝鮮化學製藥株式會社　電話一三一六番

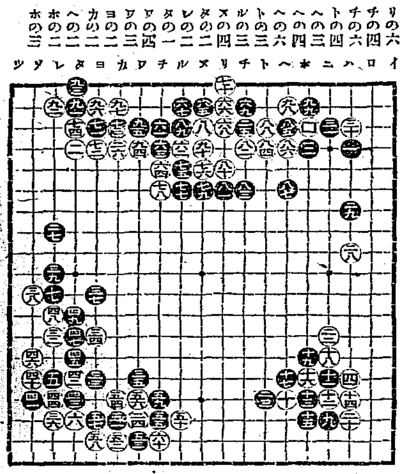
日報俳壇

春季雜詠

跫音に疾馳りし雉子や丘の畫　未刀
不忘碑を周ぐる芥川の流れ哉　同
葺き餘る薬に散らる春霞哉　同
碑閣から岐るゝ道や花菜風　同
滿園の花闇かなる月夜かな　同
電車迫る街の響きや春の月　同
踏めば零る土の砂や氷解　同
豚の子に與き代ふ薬や春の風　同
春水を湛へて廣き山田かな　同
紙を卷く音に囀る籬落かな　同
畑打つ丘の麓下やさゝら波　青
旭に並ぶ小鳥の籠や雪解風　同
暖や臼を響かす壁隣り　同
山燒けば湖面に流る煙かな　同
生垣の連翹咲ける社宅かな　春
廢鑛の水に照る陽や連翹花　同
タンク竊う時つ驛や春の月　同
水車場の唄淋しさよ春の月　同
屋根底に探り飛ぶ虫や日麗ら　梨影
クラスメート等藤提げ我を待ち居たり　同
筏流す瀬の空織れる燕かな　桐
鳥群れて渡る羽音や霞む空　夢葉

碁戰（五）

大正七年五月二十日（於京城）京城日報主催開碁會（俱樂部）
先　五段　柯亭　關源吉氏
　　三段　山□　平壽氏



●八一	リの六
○八二	チの四
●八三	チの六
○八四	トの四
●八五	ヘの三
○八六	ヘの四
●八七	ヘの六
○八八	トの三
●八九	ルの三
○九〇	ヌの四
●九一	タの二
○九二	レの二
●九三	タの一
○九四	ヲの四
●九五	ヲの三
○九六	ヨの二
●九七	カの二
○九八	ヘの二
●九九	ホの二
○一〇〇	ホの三

新刊紹介（到著順）

▲雄辯（六月號）西伯利出兵是否論　[illegible]
▲講談倶樂部（六月號）[illegible]
▲電氣　二二〇　二十五錢　大阪北區若松町
▲實業之世界（二五の十）十八錢　東京
▲獨立公論（四月號）十仙　[illegible]

京城本町二丁目　正氣堂　電話二九五番　振替京城一二八三　御一報次第見本送呈

讀者の領分

[illegible]

一千限り　高貴織　正金（代金）指環進呈

高貴織が二圓七十錢で買へると云ふ。原料の高き今日嘘のやうだが現在七年間吳服の格安亂賣で評を取つた東京日本橋區本石町一丁目吳服屋が前記の馬鹿値で投賣す。[illegible] 男女の別、年齡記し申込めば柄合親切に選び代金引替送料實費で送るとの事

陸軍拂下　官衙拂下品並に諸布、襦袢、袴下、靴下、手袋、被服一切　京城府漢江通三　電話長三二六番　佐藤古着店

京日案内　普通一回前金五十錢　[illegible]

◎女髮結すき子大至急入用　御希望の方は京城本町一丁目江戸川横入軒屋小間物店　電話三四一□

◎貸家　新築官吏向き場所黄金町六丁目　御入用の方は本町一丁目杆屋小間物店へ　電話二三四四　110

◎事務員採用　但英語に堪能なる者二名希望者至急來談（姓名在社）

セッタ種金鱗黑色ノ大犬　見當の御方は淸治町和田病院へ御知せを乞ふ　116

◎事務員採用　但簿記の心得ある者希望者は午前中本人來談　京城殖産會　長谷川町七六　118

◎大有望　○驪取散の行商及小賣商を募集す　○○時節として最も適當　京城有米倉町交番前　菅井　124　127

鱸ます東京すい屋　理調進　其前夏向御膳一の家　大勉　旭町一丁目　電二八一五番　出雲

番外　當主歸省中の處歸宅從前の通り治療に從事仕候（電話二五九五番）　うらみ　整骨所　仁壽堂　明治町（フランス教會門前）　105

中古玉突臺賣却　アメリカテーブル武臺完全なり　詳細は左記へ御照會を乞ふ　平北雲山金鑛會社內　飯島　88

勸業債券高價買入　六六回拾圓武拾六八回拾圓にて買入ます　京城太平通一ノ一三　朝鮮産業社　電二七九三番　54

恩給年金長期低利立替　但舊恩給ニ對テハ此際保險ヲ要セズ四年分迄　京城日之出町十一　日之出學校裏門前　吉田屋　111

金銀細工職至急入用　特に高給優遇す御望の方は御來談　黄金町二丁目　淸水製作所　114

旋盤十尺物一臺　附屬品共一切完全　▲所在龍山　格安賣却ス　電話一七四〇　115

若き血に燃ゆる人々よ！
初緑の若草萌ゆるは今
毒血の暴威を振ふは今
色白くなるのは今!!
ニキビとるのは今!!

塗布藥のみでは治らない。内服藥で毒素を取り永遠に色白くせねばならぬ事が判明しました。内服藥の研究には最卒先身を委ねた者で有りましたが、遂に社會に向つて一大理想藥ベーリンの創製を誇り得るの光榮を擔ふたのです。坊間に流布された幾多の類品も

白色淨血劑ベーリンに比せば月前の星で本劑あつて初めて我國理想的の淨血劑ありと誇り得るのです。ために全國の各新聞紙大家は筆に口に嶄新顯著なる卓効を賞讚致しました。今茲に効能の一斑を記せば

麗かな日の光、麗かな空の色、今は野に山に散歩に行樂に見る物聞く物凡て無上の愉快です。身體も心も一杯に延々とします。が、此の好期節は皮膚に最も刺戟の多い時で、際立つて色白くなるのも、ニキビ吹出物が思ひ切つて増すのも、ソバカス、クサ、シミの漫延するのも此の時です。今は身體中の毒血惡血の流れ出す皮膚病や

毒血を綺麗サッパリ一掃して身體を洗濯し色白くする絶好機會です。禍を轉じて福となすは今です。面貌は精神にも關係するものでニキビ吹出物色黑などは若やかな快活な人をも陰鬱にします。自分の顏が醜いと思ふ時は氣が引けて裏耻かしいものです。殊に近時の一般社會では銀行も會社も醜い者を雇入れませんですから

色黑ニキビは御婦人に良縁の障害であるが男子にも出世の妨げです。其吹出物を其儘にせずニキビを直に治しなさい。皆さんは色黑ニキビ顏の外國人を見た事がありますか？新歸朝者の話に依ると

歐米にはニキビ顏は絶對にない。ニキビは未開な野蠻人の標です。醫學の幼稚な時代には單に外面からの塗布藥よりありませんでしたが、今時其麼ものでは安心できますか？最近醫學の進歩はニキビ、ソバカス、カユガリ毛髪拔落ち、油顏赤鼻の皮膚病は概ね體內消化器內に發生する一種の毒素に原因する事を發見し其結果單に外面からの姑息的な

▽ニキビソバカス油顏赤鼻等の原因は血液中の毒素の作用なれば單に皮膚面の塗り藥にて治る筈なし我國に於て最も進歩せる內服藥ベーリンに依て根絶せよ
▽色黑も赤黑も惡血の爲なればベーリンにて血液を淨化すれば不思議に色白く成る
▽ベーリンは無害有效なる藥品の配合なれば從來の多くの白色劑の如く身體を衰弱せしむる恐れ絶對に無きのみか反つて胃腸を調へ身體を健全にする强壯劑也
▽ベーリンは頗る心地よき緩下劑なれば病的肥滿逆上性のフケ脱毛等に驚くべき卓効を有す

以上は効能中九牛の一毛であるが、一等國の體面上ニキビ全滅の第一着として發賣と同時に數百萬の同劑を本藥を敢行せる處、驚くべし同劑に對する注文は殺到し禮狀は店頭に山積の大好況を呈したが今や

試藥提供の大英斷を敢行せんとするのである

ニキビ色黑ソバカス赤鼻油顏脱毛其他前述の諸患に惱む人々よ。此の絶好の機會を逸し給ふな。根切は今である迷ふ勿れ。今なれば唯特に三十五錢だけの切手（二錢以下）を封入して申込まるれば、最新學理に基ける詳しき治療法を添へて直ぐ送藥する

東京市上野櫻木町四十　瑞國エミールシルル化學工業會社特製藥品輸入元　博仁堂　電話下谷二八〇六　振替東京七〇八〇一
全國藥店化粧品店に有

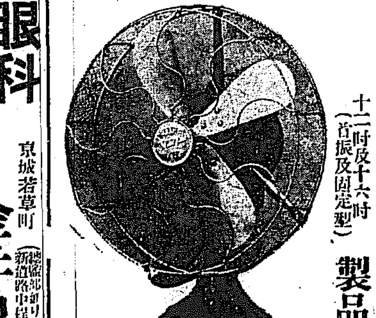
外科花柳病　內科小兒科　婦人科　京城南山町二丁目　電話三〇六八番　宮崎醫院

新芋値下廣告
謹啓時下新緑の候各位益々御隆盛の段奉大賀候偖而今回弊社製品新芋（俗稱漢陽芋）を從來の定價より五分引にて御需用に可應候に付多少に拘らず御用命の程伏而願上候
京城並木町二七六番地　京城織紐株式會社　電長一一八八番

大日本優等淸酒　ハクツル

品質純良　衛生無害
攝津灘御影町　醸造元　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七　振替口座四二五番

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城旭町一丁目　石川醫院　電話一二七九番

川北製　センプーキ　十二吋及十六吋（首振及固定型）　製品多數在庫

川北電氣企業社（本社資本金三百萬圓）　小倉出張所　九州小倉市鳥町一八　電話長六八

眼科專門　京城若草町（總督府新道路中程）　金井眼科醫院　電一五五六　新築落成　入院隨意　日曜祭日午前中

醇良無双淸酒　衛生無害品質無双

發賣元　京城府黄金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

資本金壹百萬圓　株式會社　京城　漢湖農工銀行
不動産低當ニテ長低利ノ貸出致候
支店所在地　開城、春川、公州、淸州、忠州、大田、江景、論山、鐵原、鳥致院、遠山
支配人　熙
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

最新刊
○ポケット日鮮語會話　[illegible]
生物　[illegible]
民年鑑　[illegible]
鑛山事業物語　[illegible]
北海横斷記　[illegible]
自然界の現象　[illegible]
路西亞に遊びて　[illegible]
生門　[illegible]
工藝教育　[illegible]
式代數學精講　[illegible]
唱歌伽噺　[illegible]
新式算術精講　[illegible]
面白いお伽噺　[illegible]
周易講義　[illegible]
西伯利號　地圖附
京城本町　大阪屋號

京城龍山等各地に偽物有御注意

りん病　ばい毒　[illegible]
帝國醫科大學　[illegible]
にせ物　[illegible]
大阪有田　[illegible]
京城南大門外停車場通　大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目　全支店
龍山漢江通前停車場　全支店
釜山大廳町二丁目　全支店
元山本町三丁目　全支店
平壤榮町十二番地　全支店
仁川宮町二丁目　全支店
◎朝鮮のにせ物　京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる様御注意を乞ふ
全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり
有田ドラッグ